

# 水泳

75

75

日本水上競技聯盟機關雜誌

# 水 泳

昭和十五年・第七十五號

## 目 次

### 第十四回日本中等學校水上競技を觀る

横尾 清吾···(2)

選 手 三 態·····(3)

日本教員水泳聯盟生·····(6)

競技を熟視する三長老·····(8)

人間は何故泳げるか·····田 中 登···(9)

鮮滿河童道中記·····大 澤 政 代···(13)

第十一回明治神宮

國民體育大會團體長距離競泳記·····渡 邊 延···(17)

第十一回明治神宮國民體育大會

兒童團體遠泳成績一覽表·····内 藤 徹···(22)

本年度水球競技總評·····越 川 壽···(23)

ストロークの様々·····(24)

海外水泳情報·····小山賢之助···(25)

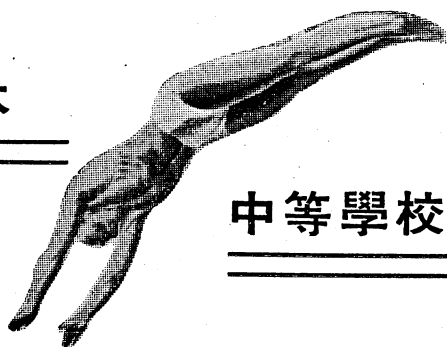
フランス・チツクの紀念胸像·····(27)

昭和十五年度水泳指導者資格檢定試験·····(28)

昭和十五年度定例代議員會議事録·····(29)

話 の 港·····横尾 清吾···(32)

# 第十四回日本



## 中等學校水上競技を觀る

横尾清吾

本年度大會は朝日新聞社の奉祝紀元二千六百年日本中等學校體育競技總力大會に合流して八月十二、十三の兩日快晴の甲子園プールに於て舉行された。

### 入場式の感想

入場式を單なる形式的添物とみる時本大會のそれは形式に於ても内容に於ても充實効果の度合に於て天地の差があつたと稱していい、數千の選手諸君は甲子園野球場の大きい雰圍氣の中で整然と行はれた力と若さを誇る組織的な美の祭典に徹底的な感激にひたり又日本男子の決意を固くした事であらう。かかる強き自覺はすぐれた心構へとなりかくの如き精神の昂揚裡に本大會はスタートを切つたのである。かくして各運動競技の第二陣に加へられた刺戟は力強い推進力となつて現れる事は信じて疑はない。又本大會を唯單に紀元二千六百年奉祝大會だけに終らせたくない中等陣營への此の上もない賜物であつたと考へる。

### 水上競技大會

#### 飛込の部

#### 高飛込

- (一)本田 伍郎(京王商) 42.04
- (二)壬生 健(茨木中) 37.83
- (三)吉田 義孝(中京商) 35.85
- (四)西川 清隆(日大三中)
- (五)富永 又二(茨木中)
- (六)西村 晴雄(東京工業)

#### 飛板飛込

- (一)小山 泰男(中京商) 87.42
- (二)本田 伍郎(京王商) 86.17
- (三)吉田 義孝(中京商) 73.67
- (四)富永 又二(茨木中) 70.81
- (五)西村 晴雄(東京工業) 63.18
- (六)西川 清隆(日大三中) 59.20

### 水球

#### 茨木中

- 杉本 健三 L.F
- 松田 武治 C.F
- 藤垣亮太郎 R.F
- 野中 忠男 H.B
- 入山 興治 L.B
- 大塚 良三 R.B
- 城坂 光彌 G.K

#### 今宮中

- 高木 功
- 近藤 眞一
- 鳥居章次郎
- 小川 良市
- 尾關 精孝
- 大谷 弘
- 稻垣 博

### 得 點

	茨木中	今宮中
前半	2	1
後半	0	0
計	2	1

基本練習も積まず水球理論も知らず、知つてるのは悪質の水中テクニクだけ、かかる早熟兒共の存在は水球界の前途に害はあつても一利もない。同時に日本水球界に於ける技術と規則のチグハグな無力さをも端的に代表してゐる。

### 競 泳

#### 二百米平泳

- (一)鈴木 重一(東邦商) 2分52秒2
- (二)藤垣亮太郎(茨木中) 2分52秒4
- (三)田島 俊雄(和歌山商) 2分57秒8
- (四)小幡 令二(濱一中) 2分58秒2
- (五)沖原 徳一(修猷館中) 2分58秒4
- (六)石原 義輝(中京商) 3分0秒0

昨年度本大會本種目で六着だつた鈴木は見違へる程闘志と練習の跡を見せた。泳ぎに力がついた事は強くなつた足の仕舞ひ込みを見ても分る。殊に必勝の意氣物妻く果敢に飛出して勝利を確保したる所は猛練習による自信の勝利とみていい。藤垣は水球出場の影響もあつただらうが前半に鈴木に水を開けられ過ぎた。田島は建闘よく小幡を抑へたが本年度の

小幡は感激を忘れた様な物々しい泳ぎで少しも気分が乗つてゐない試合に於ては必勝の意氣を満々たる闘志に盛らなくては泳ぎに生命がなくなる。

#### 百米背泳

- (一)藤井敬次郎(濱一中) 1分14秒0
- (二)西野 恭正(高知城東商)1分14秒2
- (三)野島 宏(濱農蠶) 1分14秒2
- (四)杉山 芳文(沼津中) 1分17秒2
- (五)福留 弘明(高知商) 1分17秒4
- (六)川口 清(沼津中) 1分17秒4

藤井の足は早大の吉田君の様にすばらしい、足の強さと云ふ點で野島も似てゐるがピッチが上らぬ所も亦よく似てゐる。之に反して西野は慶大の兒島君の様に手が強くてピッチが上る。西野の泳ぎは極端に云へば手で體を引づつて行つてゐる泳ぎである。肩に力が入つて泳ぎが固すぎる、足の力で身體を浮かせて手の負擔を軽くしたら泳ぎに滑かさがついて記録はぐつと上るものと思はれる。兎角悠々と泳ぐ藤井は依然として第一人者であり、西野の進況と野島の確實性等躍進の跡が特に光つてゐる。

#### 四百米自由形

- (一)酒井 孝一(岐阜商) 5分0秒8
- (二)河村 甚平(名古屋商) 5分7秒2
- (三)竹内 定夫(東邦商) 5分7秒4
- (四)長尾 克己(高知商) 5分8秒0
- (五)野並 傳(高知商) 5分8秒6
- (六)太田 光雄(中京商) 5分9秒4

ずらりと並んだ若鷺連はそのまゝ次の時代の日本水上軍を代表する面々である。平均した力で終始白熱戦を展開したる所は賞讃されてゐる。酒井は本年愈々中等陣の第一線に競上つて了つた。荒彫り乍ら新鮮發芽たるしぶきは力強く而も、自己の力とペースを信じたるものの様に太田の飛出しに亂されず終始快調を續けたる所など老巧のひらめきさへ覗はれる。泳ぎは手が強い代りに足が跛で途中で左足を休む。此の足の叩きにむらがある點を直せば泳ぎに滑かさが出て來て大成するだらう。河村と竹内はフォームが荒い、特に手に於て荒々しい。この荒々しさが悪く固らぬ裡に直す必要を感じる。意氣で泳げば充分ではあるが更に今以上の發展を望まんとし又次の代への希望が托せられる人々の心構へとしては小さい點迄細心の注意を拂ふ慎重さが必要と感ずる。太田は最初飛ばし過ぎたと思はれる。然し昨年迄長

距離を泳いでゐたものとしてこの拙戦は首肯できない。前半のペースが後半迄續ける様になる時が彼の大成の時と思はれる。

#### 百米自由形

- (一)小柳 清(中京商) 1分2秒4
- (二)小倉彌太郎(和歌商) 1分2秒6
- (三)伊藤 輝(中京商) 1分3秒0
- (四)安藤 博夫(沼津中) 1分3秒4
- (五)上藤 憲三(三次中) 1分3秒4
- (六)古木 惣一(白杵中) 1分4秒0

昨年もさうであつたが小柳の戦法は追込み戦法で消極の嫌ひがある。小柳位の力があれば自己の力と練習量を信じて飛出す果敢さが必要と思はれる後半追込みして苦戦に陥りやつと勝利を確保する戦法は彼の爲に採らない。失敗してもいいから飛出す積極さこそ彼の大成への大道と考へる。之に反して小倉、上藤の飛出しは潑刺たる意氣と共に賞されてゐる。二人の戦法を小柳と對照する時唯やたらに飛出す事の無暴さに就ては勿論反省の餘地はあるが確實な戦績の爲と云ふ慎重さは試合に對する受身の立場に立つた戦法でありむしろ新鮮潑刺たる中等學校の選手諸君は試合を戦ひとると云ふ力強い挑戰的態度こそ更に重大な意義を有するものと考へる。

#### 四百米平泳

- (一)藤垣亮太郎(茨木中) 5分59秒5
- (二)鈴木 重一(東邦商) 6分12秒0
- (三)本村 秀正(札幌商) 6分13秒2
- (四)堤 愛治(名古屋商) 6分14秒6
- (五)小幡 令二(濱一中) 9分18秒8
- (六)箕和 喜一(静岡商) 6分19秒0

藤垣と本村は體は小さいが闘志満々の點耐久力完璧の點等よく似てゐる。二人の差は藤垣は手のまとめ方は狭いがとても力強く早い。即ち體に最も適したピッチと思はれる。之に反して本村の手は廣すぎる。即ちまとめるのにひまどつてピッチが上らぬ。堤のフオーオは良い。小幡は最もいいフォームであり乍ら去年の様な底力がない。病氣であれば別問題であるが気分の問題とすれば昨年みせた闘志を呼びさます必要がある。

#### 二百米背泳

- (一)藤井敬次郎(濱一中) 2分40秒8
- (二)野島 宏(濱農蠶) 2分43秒8
- (三)西野 恭正(高知城東商)2分45秒4

- (四)川口 清(沼津中) 2分46秒2  
 (五)杉山 芳文(沼津中) 2分47秒6  
 (六)稻垣 達夫(名古屋商) 2分48秒6

背泳に於ては百背に於てさうであつた如く足の強いグループと手の強いグループに分ける事ができる然し乍ら足の強いグループは手が弱いわけではなくその點足が特に強い藤井、野島の泳ぎは體がよく浮いて長距離になる程無理がなくスムーズに行くのである。此の二人はダツシユの研究等ピッチをより早くあげて而も手足のバランスを失はない泳ぎを練習すれば充分と思はれる。藤井の糞度胸と進況の跡著しい野島の將來は充分期待していい。之に反して足の弱いグループは未だしの感が深い。西野の足の弱さは百米より二百米に於て顯著であり、豫選で一分十七秒〇二分四六秒六の好記録で泳ぎ乍ら決勝で惜敗した赤峰(白商杵)の足の弱さはすべての負擔を手と肩に負はせた泳ぎ振りで極端なローリロングで以て身體を引擡つて行つてゐる。豊富な素質も磨きをかけねば光らない。若き選手諸君は大會出場と云ふ大きな榮譽だけで満足してはならない、常に速い人強い人上手に泳ぐ人々の泳ぎ方に對して研究的であり、そして以て自己の不充分さに對する充分の刺戟と匡正を與へたらそこにこそ檜舞臺出場の意義があるわけである。従て夏の日本選手權大會にしる又秋の明治神宮大會の出場意義も其處に見出す様に努力されん事を希望する。話は前に戻つて西野赤峰は先づ足を強くする事から出發すべきと考へる。沼中の川口杉山共に水のキヤッチも上手でフォームも綺麗だが力がない。フォームと云ふ事は練習の次に大切なものであるから悪いくせをつけない様に精進努力を切望する。

#### 二百米自由形

- (一)太田 光雄(中京商) 2分18秒8  
 (二)小倉彌太郎(和歌商) 2分22秒4  
 (三)古木 惣一(白杵中) 2分22秒6  
 (四)長尾 克巳(高知商) 2分22秒8  
 (五)小柳 清志(中京商) 2分23秒0  
 (六)河村 甚平(名古屋商) 2分23秒2

太田の獨舞臺を除いた残りの激戦振りは接近してゐる記録を見ても分る通りに素晴らしい肉迫戦であつた。先づ太田は四百の失敗を取返さんと力一杯の力闘を挑み成功した。百ラツプ一分四秒四も二分十八秒臺の記録としては順調なものと云へやう、殊に今

年度の彼は練習に力に自信あるものの如く敢然と飛出して機先を制しようとするその氣魄は最も賞されていい。小倉と古木の後半の奮闘も目に残つてゐる。殆どタッチの差で五人かゴールに雪崩込んだ壯觀七コース八コースで競合ふ小倉と古木二、三、四コースで鎬を削つた長尾小柳河村の一線に並んだ接戦等珍らしく勢込んだ感激力闘の展開であつた。

#### 千五百米自由形決勝

- (一)酒井 孝一(岐阜商) 19分52秒4  
 (二)村山 修一(伊都中) 19分57秒2  
 (三)竹内 定夫(東邦商) 20分17秒6  
 (四)藤村 恭一(逗子開成) 20分54秒4  
 (五)淺野 俊雄(中京商) 20分55秒4  
 (六)野並 傳(高知商) 20分56秒4

#### ラツプ

米	時間	氏名
100m	1:10.0	酒井
200 "	2:27.4	"
300 "	2:45.6	村山
400 "	5:05.8	酒井
500 "	6:25.8	"
600 "	7:44.8	"
700 "	9:04.8	"
800 "	10:25.6	"
900 "	11:46.0	"
1000 "	13:07.2	"
1100 "	14:27.8	"
1200 "	15:48.0	"
1300 "	17:11.0	"
1400 "	18:32.6	"
1500 "	19:52.4	"

本試合は大會の壓巻であつた。酒井を追ふて村山の力泳、殊に藤村が強豪淺野、野並を抑へて20分54秒4の好記録で四着に入賞した死斗の跡は絶讃していい、記録も全般的に揃つて優秀であり一着の酒井は1分17秒から20秒のペースで戦を進めてゐる。この人の立派な戦績は猛練習の跡と思はれるガフォームに未しの感が深い、即ち四百の項で述べた様に足のビートに強弱の斑があり殊に左足の遊びは匡正さるべきであらう、一般に強い手で身體を引づつて行つてゐる感じだが酒井の泳ぎには精神が看取される所に最も大きい意義がある自己の力と練習を信じきつた強い泳ぎぶりには独自の風格があり強豪揃ひの長距離陣の中にあつて一段と高い點

から戦を挑んでる實力の押しは堂々として大きい。今年の村山は伊都中敗陣のかげの下にその實力が過少評價される様であるが決してさうではない、酒井を追つた奮闘の跡は飽まざる練習ならでは残しえない力泳であり殊にフォームの綺麗さは中京の太田と双壁をなして居りさそりの様に大きく長い手でぐいぐいと氣持よく泳ぐ。太田は中距離に轉向したが村山は矢張り長距離に於て天分を伸すべきだと思はれる。竹内のフォームは強引だが慾を云へば荒つぽい手に洗練さが慾しい、藤村の泳ぎは文字通りクローで力がない様に見えてもよく滑る、上體をも少し起したらよく足が利いて記録も上る事と思はれる。一般的に云へばフォームはいいとは云へない、然し皆よく頑張る、こころ邊りにインタミドルの眞の生命があるわけであるが慾を云へば力は合理的に使ふのが正しい。たとひ頑張つて立派な成績を残しても上に昇れば昇る程力の差が僅少となるから如何しても無駄な力を少くする様に努力すべきであらう。結局いいフォーム程無理がないと云ふ點に注意して貰ひ度い。然し乍らいいフォームで泳ぐために頑張る事を忘れては無意義である。即ち頑張ると云ふ精神力と肉體力がフォームに最も合理的に集中さるべきものと思はれる。とにかく中等陣擡頭の一角が長距離陣營に於て早くも大學陣突入の力強い氣勢をあげてゐるのである。

### 二百米繼泳

- (一)中京商業 1分52秒6
- (二)高知城東商業 1分55秒4
- (三)臺北商業 1分56秒2

(四)伊都中學 1分58秒0

(五)加治木中學

(六)臼杵中學

### 八百米繼泳決勝

(一)中京商業 9分26秒6

(二)高知商業 9分53秒6

(三)沼津中學 9分57秒2

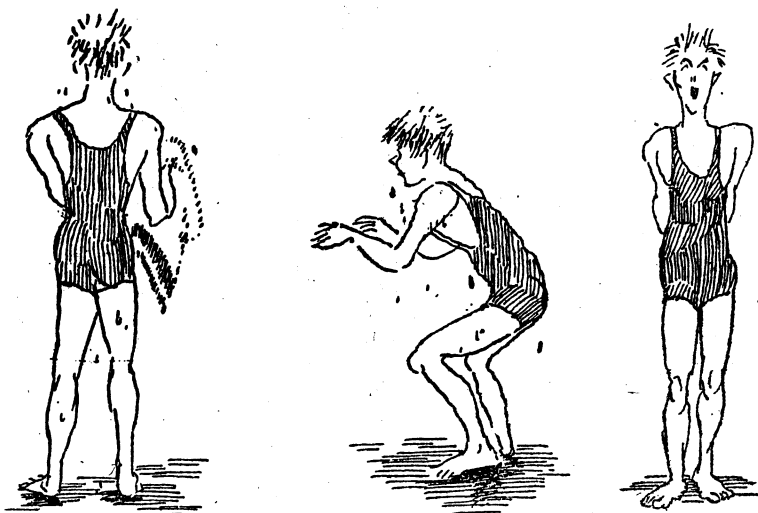
(四)臼杵中學 10分5秒6

(五)高知城東商業 10分6秒2

(六)臺北商業 10分8秒2

結局中京商業が38點で優勝し2位は20點の東邦商業3位は19點の濱松一中4位は16點の高知商業5位は16點の沼津中學6位は16點の高知城東商業(以下略)である。地域的にも中部の快勝に歸したが一般的に云へば優勝を争つての接戦がない試合ではあつたが個別的に云つて各試合は終始接戦裡に行はれ近年にない充實した試合であつたと思はれる、中等陣に關する限り沈滞どころか競り上つて來る水々しい力を感じる、同時にこの元氣の指導に當つても水上日本第一線部隊の持て餘した實力の爆發口さへ見出す事ができたら發刺たる此の第二陣はそのまゝ順調に伸上る事と思はれる。

合間をみては殺到しレースがすめば潮のひく如く次の場所へ渡り歩く浮遊的觀衆は選手は勿論の事當事者としても亦熱心なファンとしても迷惑な限りであつた。この落ちつかぬ雰圍氣は試合と試合の合間の長すぎた故もあつて試合氣分の集中が分散された。これは強ひて難くせをつけたがる人間のけちくさい根性ばかりとは云へまい。(終り)



選  
手  
の  
心

# 國民皆泳を目指す

## 日本教員水泳聯盟生る

—故石本先生の墓前に報告—

東京市小學校教員會  
水泳部委員長 藤 森 福

我々は、十月廿八日、小石川の幡念山淨雲院心光寺に永遠に生きて居られる先生の墓前に類づき、新しく生れた「日本教員水泳聯盟」結成を御報告すると共に、御家庭を訪ねて、輝しき皇紀二千六百年奉祝第十一回明治神宮體育大會夏季大會水上競技之部に於て、小學校教員競技が本年より府縣對抗となり、集まる十八府縣、八十六選士を大會第三日、小學校教員之部終了の翌日、N.S.R. が御招待下され、我々関係者も御相伴にあづかり、主催者側として末弘會長、田畑理事長、本田評議員始め、幹部多數御列席下され、又中澤全國小學校教員會長、小倉前東京市小學校教員會幹事長、藤野東京市小學校教員體育部長出席されて、盛大な懇親會を催した。會は内藤君（N.S.R. 小學校委員長）の司會で、實に朗らかに進行し、末弘會長の何時も乍ら熱のある御挨拶、本田先生の實のあるお話、田畑理事長より普及についての御感想あり、尙來會者側から地方の状況説明あり、進んで全國的結成の一日も早からん事を希望する聲を聞くに及び、不肖最後に起つて結成の動議を出し、來會者全員の賛成を得準備委員長として小倉育之介先生を頼はし、目度く全日本教員の團結たる水泳聯盟の組織が企てられるに至つた次第を、我々謹んで御報告申し上げた。

何故我々この結成に當つて報告しなければならなかつたか、已むにやまれぬ氣持になつたか、それは先生を追憶することに依つて、皆様に御察察願へると思ふ。既に「水泳72號」石本已四雄民追悼號で多くの方から隠れた逸話が語られ、豊かな御趣味が紹介されたが、實際先生にとって水泳は、趣味以上のものであつたと思はれる。生活化されてゐたと申しても過言ではないであらう。改めて國民皆泳に如何に御眞摯な態度であられたかを思出して見よう。

我々が先生を始めて存知申上げたのは、大正十三年の夏であつた。芝公園のプールが、市中で唯一の泳ぎの場所であつた。未だ松澤さんが瘦型で、帝大の長距離選手で熱心に練習されて居た時代だ。先生は夕刻頃、飯田さん、原さん等と來られて、心行く迄泳がれては歸つて行かれた。當時まだ教員になつて二年目の若い自分は、毎日の様に先輩會田氏等が監督して居るのをよいことにして、練習に行つて居たのである。夢中にわからず泳いで居る我々を、時々御親切に御指導下さつた事が、今日、水泳が我々の唯一の趣味

となり、我々の生活から切離すことの出来ない機縁となつたのである。其の後、芝プール、多摩川プール、Y.M.C.A. プール等で御目に懸る度毎に泳ぎ以外の話の出なかつたのみか、國民生活と水泳の問題を伺ふ事が出来、身心一體化の行念的生活であると云ふ哲學を伺ふことが出来たのであつた。先生の御生活にとつては、忖度するのは失禮であるが、水泳は人生哲學であり、科學であられたのであらう。昭和五年八月「文部省主催で水泳講習會を神宮プールで行ふやうになつたが來ないか。」とお誘ひを受けたが、公務のため差支へ、翌年參加した。我々は下手ながら一生懸命泳いだ、先生も「好きなんだから、もう少しは上達してもよささうだね。未だ脚も弱い。手も使はれて居ない。もつと型等考へないでグングン力強く泳ぐ事をやらなくては身體につかないし、良い泳ぎは出來ないよ。」と言はれたので我々は何とかして良くなつたと一言賞めて戴き度く毎日、子供のやうにうるさく御指導願つた。遂に良くなつたの御言葉は下さらなかつたが、後年、「君達、あの口の悪い飯田さん（光太郎氏）が君達の泳ぎ、大分良くなつたと言つたよ。一つ暫く振りで見せて貰ふかな。」と言はれたが、遂に御指導戴く機会なく、その飯田さんも、共に今は亡く感慨無量だ。

講習も終つて七月中旬頃であつたと記憶してゐる。突然御電話下され、神田の大雅樓で支那料理の御馳走に與つた。他にも同席者があつたことと思つて行つて見ると、先生御一人で「今日は君達と思ふ存分水泳の普及問題について、語つて見たいと思つて來て貰つたんだが、無理ではなかつたかね。」こんな風に我々は過分に先生に扱はれたことを光榮とすると共に、今以つて先生を御慕ひ申し、思ひ出す度に思はず目頭が熱くなるのである。先生は、「水泳の普及は何といても諸君が眞剣に考へて呉れ、學童に直接働きかけて呉れることに依つて、總てが解決される問題だ。君達の所見は。」と言はれた時は、何時もの柔和な顔でなく、強く熱の籠つた眼でぞつと見つめられた時は、み疎んで、大分頂いた麥酒の酔も覺めて行くやうであつた。實に信念の方だと始めて知つた。併し自分も「義務教育の關門を守る我々が結束し教員たるもの總てが泳ぎに切實感を抱くと共に、國家また助成を惜ましなければ、國民皆泳は實現します。先

づ師範教育に水泳を正課とし、正しく指導して、多くの良き指導者を作り、社會に送り出す送り出された教員は總てが充分關心を持つを以つて、關門は牢固たるもので、水を通しての修練は容易に出來ます。」と斷言した。「併し、施設が伴はなければ駄目です。」と附加へた。先生は、「其處だよ、今後指導普及の講習は聯盟として益々充實し盛んに行くが、是非小學校側の連繫運動を考へて呉れ。大きなことを考へても難かしいから、日本の中心、帝都でその運動をやり、成功すれば全國に波及するから、一人二人と講習參加者の同志を集めて實踐運動に入つて呉れ。僕で出來ることならなんでもするよ。」と確り我々の手を握られた。其の後の我々の活動は先生の命ぜられる儘に動き、昭和七年は遂に準備時代で、東京朝日新聞社會議室で N. S. R の招待で、末弘會長、石本先生始め主腦部の方と、講習參加の在京者と、講習に對する希望、普及問題についての座談會を催され、今日に至る第一歩を踏み出した。羅府に於ける。日本水泳を世界に輝かした歴史的印象深き年でもある。翌年九月の十一、十二日神宮プールに於て東京學童水泳大會第一回を開催したのである。此の前後は地震研究所の所長室が計劃の本據で小林三次氏もよく私の學校へ來られ、先生も時々來られ、我々も度々研究所へ出かけた。後に、橋谷田、福士、辻、分林、内藤、會田、佐藤、千金良、中島、松尾氏等が參劃され聯盟で具體的の仕事は始まつたのである。先生は役員長で、審判長を兼ねられた。計時主任は飯田光太郎氏、審判主任は小林三次氏、飛込の水谷氏が通告をし、神宮プール、25メートル 50メートルの大小プールを使用して競技會を開いたのは後にも先にもあの時だけだと思ふ。其の閉會式に小學校の會を組織することを決議し、一切をあげて實行委員に一任されたのである。後、N. S. R の意向を松澤、小林兩氏に伺ひ、東京小學校水泳聯盟と假稱し、石本先生の御宅に會長就任方御願に辻君と共に訪ねた。わざわざ御來客の處を外して出て來られ、別室に案内されて歡待され、會長のこともころよく御引受けになり、名實共に、會長としての御活動願へるやうになつた。又、松澤さんが、名コーチ振りを唱はれ、羅府より歸られてから N. S. R の名譽主事として、特別お忙しい身體を當局の諒解運動にも一處に出掛けて、何かと御面倒下さるし、石本先生も御都合のつく限り、各方面への折衝プール増設方陳情等自分を帶同して文部省、東京府、市へ出懸け、責任者と御會ひ下さるし、獻策すれば即座に快答されて、氣持よく仕事が進歩したことは、實に先生の圓滿開達の御氣象に依る事に他ならない。かくの如く廣く學童水泳普及の意義を御賢察されて居られたことに依ると信じる。聖なる仕事であればこそ、府の竹内體育主事市の藤本視學の同情理解を得ることが出來種々便宜を興へられた。今日の發展の素因をなすものは各方面幾多の方の御援助だ。我々は幸福であつた。又小倉校長、辻君はよく援け

て呉れた。

前後したが一夜 Y. M. C. A で柳田氏が羅府大會の狀況を詳細撮影されてきた映畫の、タイトルもつかないフィルムを試寫會を觀賞した。終つて末弘會長より、「今日以後は普及指導員の擴充強化と指導の徹底だ。國民全部が泳ぎを知つた時をピラミットの底邊とするならば、高さは今日の何層倍かの高さになり多くの人材を得ることになる。」と、強く語られた。石本先生を委員長とした其の後の N. S. R 普及指導部の活躍は目覺ましい。ラヂオに依る全國學童水泳大會、指導者協會の創立等、何れも普及事業強化の現れだ。

昭和九年五月廿九日に東京小學校水泳聯盟實行委員會及各校代表委員會總會を Y. M. C. A に開き、石本會長、飯田、松澤、西本、金子氏も列席され、正式に規約を決定し、其の規約に依り多難な出航をしたのである、副會長には府の伊藤學務課長、市の加用體育課長、西本關東水泳協會主事の三氏になつて載き、辻君が名譽會計として自分を援け、常務理事として小倉、橋谷田校長、現東京市視學の中島君、現名譽主事の内藤君、神奈川小學校聯盟名譽主事の分林君等は、夜の十二時迄丸ビルのエレベーターがなくなつて八階からトボトボ歩いて下りた事も幾度か。が今となつては楽しい思ひ出だ。會長は如何なる小委員會にも出席され御指導賜はつた。昭和十二年四月迄主事を勤め學童の方は辻君に後を頼み、内藤君を名譽會計に推し、専ら、東京市小學校教員會に水泳部設置方の猛運動をなし、幸ひ辻、内藤、會田諸君の助功により、理解深き中澤幹事長、因縁淺からざる小倉庶務部長、山口會計部長諸氏の斡旋に依つて一部門を作り、教員水泳の普及親睦機關として生れたのである。其の水泳大會も本年で第四回を開催した。伯林大會にて末弘會長始め主腦者の留守には、殘留主腦者に依つて文部省、東京府、市の責任的地位の方、東京府三師範學校長、小學校教員會幹事と N. S. R 側石本氏、飯田氏、野田氏等が出席して、普及問題につき座談會を中央亭で開催したことも一助であつたと思ふ。今日まで委員長として大過なくやつて來られたのも、皆同志諸君の御援助です。

此の度、全日本の教員が團結して水泳日本の基礎強化に出發するに當り、石本先生を強く強く想起すると共に、目出度き皇紀二千六百年、教育勅語御下賜五十周年意義深き年、又明治神宮體育大會の最中、誕生を見たことは實に愉快であるが、若し御存命であつたらばと惜しみても尙餘りあり、の感眞に深い。

此の間、東京小學校水泳聯盟では、昭和十二年七月『小學校水泳』を編著、十四年七月には『水泳讀本』を著し世に問ふたのである。『水泳讀本』は聯盟委員の血の滲むやうな努力に依つて出版され。病床の石本先生をお喜ばせしたのであつた。

先生はまた數度ならず、小學校のプール設置に當つては



助言され、設置されるや、小學校聯盟の會長として遠きを御厭ひなく御出懸け下さり、御祝詞をお述べ戴き、御自分も泳がれて心から御祝ひ下さつた。

亦此の稿を起すに當り、日本教員水泳聯盟の目的性、活動方向が先生の御遺志に依つて生れたものであり、最後の計劃に一鍼入れた事を、墓前に偲ぶと共に、先生の生命は永遠に實在して、我々を永遠に御指導下さつてゐる其の事を皆様を知つて戴きたかつたのである。此の事に手を取つて歩いて來た辻君は、定めし遠く鹿児島島の地に喜んで呉れるだらう。

日本教員水泳聯盟は、此様な道を通つて遂に生れた。併し、色彩は鮮明であるが、經濟的には恵まれない。N.S.R. と言ふ良き母體が一人歩き出来る迄、手を取つて導いて下さるだらう我々は一日も早く一人歩きがしたい。が今は何といつても生れた許り、喋ることも這ふことも出来ない。温かい母の懷が必要な時だ。可愛がつて戴き度い。

末弘先生には既に會長になつて戴いた。我々は國民皆泳の旗幟を振り立て、全國の持場々々を固め、目的貫徹の爲には如何なる障害をも排除し、國民皆泳の牙城を築く迄、不退轉の魂をもつて進撃するのみだ。幸ひにして、我々死守する關門は國民たる者の必ず通らなければならない大道である。

來る者は皆手を取つて教へ、皇國に歸一するの魂を持つ皇民を錬成するのだ。

全國小學校教員會の機構は次の如く……………

#### 本部(會長)一府縣一市町村

の體系を取り細胞組織になつてゐる。來年度より國民學校案實施に伴ひ、教員の活動體も何れ新體制が出来ることと思ふ。其の組織を活用し充分聯絡をとり、活動機關を通じて同志の結合を計り、水泳の指導普及は勿論の事、指導方法の研究、施設の研究、各府縣、市、町、村の普及状態調査等、考へ來れば爲す仕事は山をなし、益々前途の多難を思はせる。

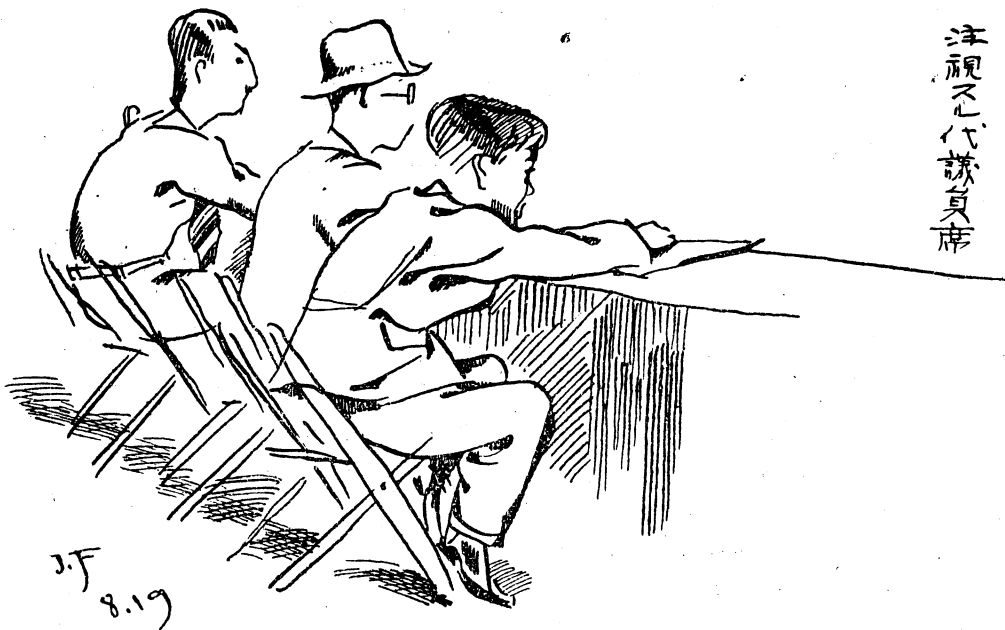
水泳の國民に及ぼす効果は、今更喋びするを要しない。身心一如の發展、向上、革新の爲には一億一心の覺悟で、國家の要求する人的資源擴充の重大使命達成の爲にも、我が聯盟は明日、否本日只今より追撃するのである。

終りに「水泳」の讀者諸先輩各位、我が聯盟の育つた曉を想像して戴き度い。眞實の國民皆泳は我々の強力な團結に依る指導普及である。戦時下の體制として國家に寄與することも大きいと信ずる。心からなる御聲援を賜はらすことを切に御願ひする。

石本先生。幽明境を異にしますが、先生は常に今後共我々の先達として、正しき道に御導き下さることゝ、固く信じます。

終りに N.S.R. 名譽主事野田さんには一方ならぬ御世話になつた、本當に本日迄の歩みの影の方だ、深く深く感謝します。

再び、我が日本教員水泳聯盟の使命は國民皆泳であることを強調して擱筆する。 (終り)



競技を熟視する三長老、右より末弘會長、杉本傳氏、小林高志氏

# 人間はなぜ泳げるか

## —水泳可能性の根本原理—

田 中 登

水温み愈水泳のシーズンとなつた。この時「人が泳げるのは何故か」と云ふことに關する根本原理を考へて見るのも穴勝無意味でもなからう。

私は人が泳げるのは次の二つに根本原因を有するものとする。

- (1) 人體の比重は水より小であること。
- (2) 流體抵抗の利用。

上の二項に就いて少し詳しく解説して見やう。

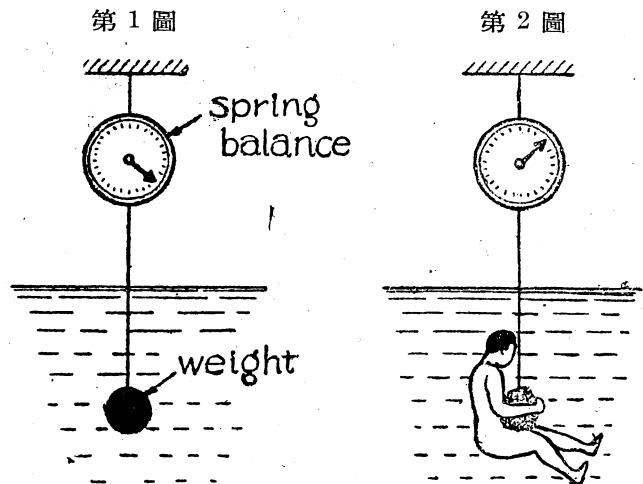
(1) 人が泳げるには、人體が水より軽いことが何と云つても第一要件である。地上を颯爽と疾走する自動車も比重の関係上水中では沈没の外ない。先日田舎の人を海軍館へ案内した處が軍艦の模型を見て鐵で出来てゐるこんな重い物が海に浮くのは何故か、と質問されたが、之は艦の内部に空間が澤山あり艦全體の平均の比重はやはり海水より小であるからである。船室に入水すれば比重甚しく大となり沈没することは明かである。但し人體の比重が極く少し(1)より大であつても(2)の作用を大にすれば(1)の要件の不足を補ひ泳ぐことが出来る。(然し比重が1より大なるときは所謂“浮身”は絶體に出来ぬ)

扱て人體の比重は幾何位か。それは年齢と性と體質と呼吸とにより可なり違ふ。概して子供と老人は比重小である。子供は筋肉が緊つてゐないため、老人は骨の中空部が大きくなるためである。女は皮下脂肪が多いのと筋肉が緊つてゐないため男より浮き易い。(註一浮き易い事と水泳が上手だと云ふ事とは必ずしも正比例しない) 中年の平常よく運動し筋骨隆々たる男子は最も比重大にして浮き難い。又男女共肥滿型の者は瘠型の者より浮き易い。尙又同一人でも吸氣時は浮き易く呼氣時は浮き難い。

然らば人體の比重は數字的に何程位かと云ふに稀に1より大なる人はあるが、概して1より小である之は理論より實測するのが一番正しい。R, Sandon氏は次の様な實驗を行つた。

先づ第1圖の様に水中で4kg か5kg の重錘

(weight)を水中に吊しゼンマイ秤(spring balance)で測つて置いて、次に第2圖の如く被試験者に其の重錘を持たせて水中に沈め再び秤の目盛を読む。然るときは人體の比重が正に1であれば前後の指針の讀みに差はなく、比重1より小なれば後の讀みは初めの讀みより小となり。比重1より大なれば後の讀み方が大となる筈である。



この方法による Sandon 氏の實驗報告では、3.6kg 輕かつた人と 0.5kg 重かつた人とが兩極端の例で、他の人は皆この中間に位してゐた。即ち多くの人を平均すれば同容積の水より軽い、即ち比重が1より小さいのである。

筆者は先日我が家庭風呂で二人の愚息について實驗した處次のデータを得た。

水温：38°C

重錘：空氣中にて4.9kg

水中にて3kg

長男：年齢12歳

空氣中にて26.7kg

秤の讀み2.6kg

次男：年齢10歳

空氣中にて22.4kg

秤の讀み2.75kg

以上のデータにより長男の比重を計算すること次の如し。

重錘が水中で 3kg あつたものが 2.6kg となつたのであるから 0.4kg 減少したのである。従つて浮力は  $26.7+0.4=27.1\text{kg}$  ある。アルキメデイスの原理によつて固体と同容積の水の目方だけ減少するのであるから、 $27.1\text{kg}$  は身體と同容積の水の目方である。故に  $26.7 \div 27.1 = 0.98524$  が長男の  $38^\circ\text{C}$  の水に對する比重である。之を普通水泳する時の水温  $25^\circ\text{C}$  の水に對する比重に換算するなら、 $4^\circ\text{C}$  の水に對して  $38^\circ\text{C}$  では比重  $0.9932$  であり  $25^\circ\text{C}$  では  $0.9971$  であるから  $0.98524 \times (0.9932 \div 0.9971) = 0.0799$  となる。

同様に次男について計算すれば 0.985 となる。以上は二人共大體八分目吸氣の時である。又筆者と愚妻とについて同様の實驗を行ふ筈であつたが風呂桶が小さく周圍に問へて不可能であつた。

尙文部省著作「水泳指針」には「人體の比重は普通大人で強呼氣時 1.02802 深吸氣時 0.96702」とある。

備考—飛行機が空氣に比し比重甚だ大なるにも拘らず空氣中を容易に飛ぶのは、進行によつて生ずる揚力を利用したもので、輕氣球の如く浮くのは原理が全く違ふ。

以上は淡水の場合の事であるが、海水では海水自身が淡水に比し比重が 1.01~1.05 であるから、海水に對しては人體はずつと軽くなり、浮き易くなる。例へば淡水に對して比重 0.98 の人が比重 1.03 の海水に入るときは、この人は海水に對して……………

比重  $\frac{0.98}{1.03} \sim 0.95$  となる。

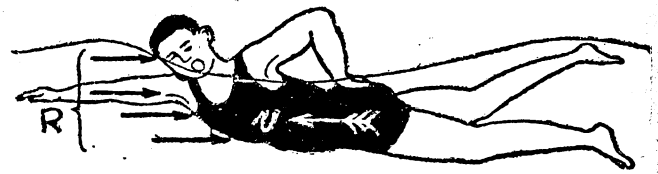
要するに人體は大體に於いて水より軽く浮くのが當然であるが、水泳術の方から論ずる時にはこの比重の事は大問題ではなく、次の流體抵抗の利用の方がより重大性がある

(2)空氣や水の如き流體中を固体が進行する時の抵抗力  $R$  は固体の進行速度  $v$  の自乗に比例するものである。即ち……………

$$R = \frac{1}{2} \rho S C_x v^2 \dots \dots \dots (A)$$

である。(第3圖参照)但し  $R$  は抵抗力、 $\rho$  は流體の密度(一氣壓の空氣なら  $0.001293\text{g/cm}^3$ 、淡水なら  $1\text{g/cm}^3$ 、海水なら  $1.01 \sim 1.05$  普通  $1.03\text{g/cm}^3$  である)  $S$  は進行方向に直角に測つた固体の切斷面積中最大なるもの、 $C_x$  は形状係數と稱する係數にて

第 3 圖



固体の形状に依り甚しく異なるものに球や圓錐等なら計算出来るが一般には實測するの外ない。又同じ形でも進行方向によつて  $C_x$  は變はる。 $v$  は固体の進行密度である。

各種物體の抵抗係數

物 体	基準面積 S	$C_x$
円 柱 	$\left. \begin{array}{l} \frac{l}{d} = 1 \\ \quad = 2 \\ \quad = 4 \\ \quad = 7 \end{array} \right\} \frac{\pi d^2}{4}$	0.91
		0.85
		0.87
		0.99
円 柱 	$\left. \begin{array}{l} \frac{l}{d} = 1 \\ \quad = 2 \\ \quad = 5 \\ \quad = 10 \\ \quad = 40 \\ \quad = \infty \end{array} \right\} d \times l$	0.63
		0.68
		0.74
		0.82
		0.98
		1.20
矩 形 板 	$\left. \begin{array}{l} \frac{a}{b} = 1 \\ \quad = 2 \\ \quad = 4 \\ \quad = 10 \\ \quad = 18 \\ \quad = \infty \end{array} \right\} a \times b$	1.10
		1.15
		1.19
		1.29
		1.40
		2.01
半球(底なし) 	$\frac{\pi d^2}{4}$  $\frac{\pi d^2}{4}$	0.34
		1.33
円 錐 	$\left. \begin{array}{l} \theta = 60^\circ \\ \theta = 30^\circ \end{array} \right\} \frac{\pi d^2}{4}$	0.51
		0.34
	最大斷面積	0.050
		0.045

但し速度が非常に小なる時はRは $v^2$ でなく $v$ に比例し( $R \propto v$ )、非常に大なる時は $v^3$ に比例する( $R \propto v^3$ )  
然し茲では(A)式が眞なりとして之を少し分析的に説明して見やう。

先づRは $\rho$ 即ち流體の密度に比例する。前記の如く水は、空氣の $1 \div 0.001293 = 774$  倍の密度を持つてゐるから、陸上の競走に對し競泳の場合は抵抗大きく速度は非常に小さい。例へば一流選手で陸上なら100米を11秒内外で走れるのに對し水上では60秒内外を要する。(但しこの記録の差は單に $\rho$ の影響ばかりではなく澤山の factor が混入してゐる)

然し水は $\rho$ が大きくて一見不利の様であるが、他面この $\rho$ が大きいからこそ泳げるのである。 $\rho$ が小さかつたら、浮くことも出来ないし手足は所謂"空振り"をしてゐることになる。

次にSであるが、之が大きければ抵抗の大きいことは常識的に解る。故に船舶、飛行船、スキー、砲彈等が長さに比し幅が數分の一又は數十分の一になつてゐるのはこの故である。

次に抵抗係數 $C_x$ であるが、之は固體の形狀によつて甚しく變るものである。概略を述べると同じ容積なら進行方向に細長い方が $C_x$ が小さい。又表面の凹凸が少ない程 $C_x$ 小さい。

次に二三の代表的形について $C_x$ の傳を示せば次表の様である。(前頁参照圖下さい)

最後に $v$ であるが之は自乗になつてゐるので、 $v$ の大小はに影響する處が非常に大きい。筆者が本稿を草したのも $v^2$ の影響を論ぜんがためである。

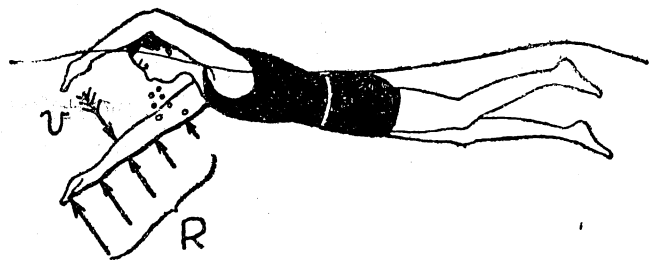
Rは $v$ の自乗に比例するのであるから、例へば棒を水中に突込む場合、1 m/sec の速度できつくり突込むのと 5m/sec の速度で速く突込むのとでは後者の方が $5^2 = 25$ 倍の抵抗を感じるのである。

之は直接腕を水中に入れて動かしてみれば尙ほはつきり感得出来る。水泳コーチは良く"水を押しへる"とか"水を catch する"とか云ふが、一寸考へると形なき水を押しへたり攪んだりする事は不可能の様であるが、左に非らず、腕を動かす speed の緩急を甘く活用すれば、水を押しへて體を一時的に浮かし、或は水を攪んで體を引寄せる事が出来るのである。

次に色々な泳法に如何に(A)式の原理が應用されてゐるか、又如何に應用すべきかに就いて述べやう

**クロールの上肢** クロールでは、兩手を交互に空中

にて前方に持つて行き肩先の處で水中に差込みクランク状に腕を後方に引寄せ、腰の邊りで空中に抜き抜き出し、再び前方に持つて行くのである。腕が鉛直下即ち脇の下附近を通過する時が最も有效なので、蒸汽機關に譬へるなら piston が cylinder の中央を通過する時に相當する。腕が脇の下を通過する時餘り力を入れず従つて $v$ が小なる時はRが小さく、従つて手が水に引懸らず素通りして終ひ胴體を引寄せることが出来ず換言すれば身體は前進しない之に反し手が肩の鉛直下を通過する時強く力を入れ従つて高速度に crank motion をやらせると即ち $v$ を大にすると其の自乗に比例してRが大となり手が後方(腰の邊)に来にくくなり所謂"手が水に引懸り"従つて胴體の方が手の方に引寄せられて來るのである(第4圖参照)即ち體が前進する。



第4圖 クロールの腕

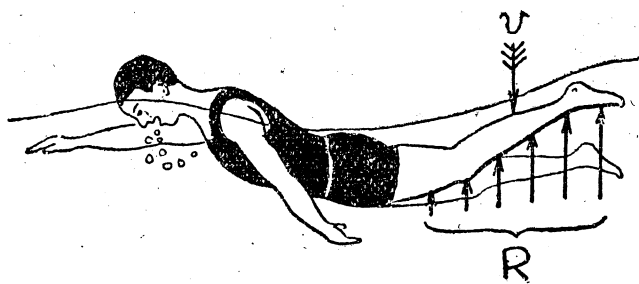
松澤一鶴氏はこの動作を次の如く教へて居られる「水中に立つて居る棒杭を手先で攪んで體を引寄せる様なもので、又其の気持ちで水泳せねばならぬ」と。誠に至言である。

水を搔く場合手の五本の指は密着させて杓子の如くした方が指間を空けて楓の葉の如くするより $C_x$ が大きくなり有效なることは前表より計算出来る。

**クロールの下肢** クロールに於ける下肢(脚)の役目は體の下半身を浮かせて體形を整へることが主であつて體を前進させることは従である。

方法は云ふまでもなく、膝關節を殆んど曲げず、主として腰關節を働かせて兩脚を交互に強く水中に敲き込むのである。敲き込み終つたら後は力を抜き自然に任せばゆつくりと水面に浮んで來る。

扱つてこの動作に於いて(A)式がどんなに利用されてゐるか、初め脚に力を入れて即ち $v$ を大にして水中に入れんとすれば其の speed の自乗に比例してRが大となり、水中に入れにくくなる。(第5圖参照)即ち下半身が浮くのである。



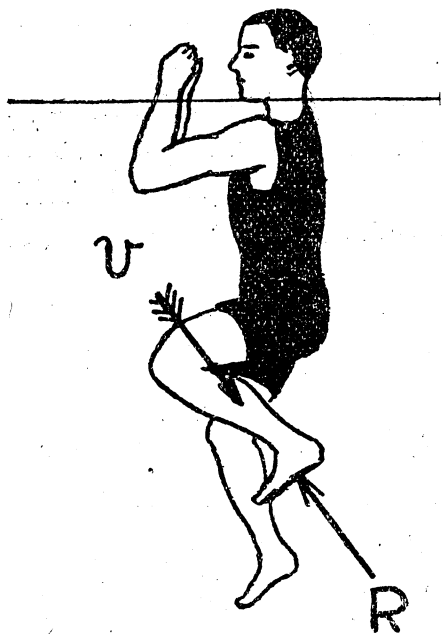
第5圖 バタ足に對する抵抗

而して脚を水面に出すときはゆつくりと $v$ を小にして出せば $R$ も小となり容易に出せる。之に反し入れるときゆつくり出すとき速くすると下半身が沈み體形が崩れ泳ぎが成り立たない。尙ほ脚を水中に入れるときは足首を延して強く水面を打つべきで、かくすれば(A)式の $S$ が大となり従つて $R$ が大となり浮力が附く。水面に出す時は足首を曲げて $S$ を小にすべきである。

今若し初心者の行ふ如く、膝關節を曲げて下腿(脛)だけでバチヤバチヤとやつたなら、成る程膝より先きには浮力が附くが、肝心な大腿及び腰部に浮力が附かず結局下半身が沈み恰も腰の曲つた盲目の老人の如き恰好となり泳ぎが成り立たない。

尙ほクロールの脚の推進力については別の機會に説明する事にする。

**踏足立泳** 立泳とは體を鉛直に保つて手を全然用ひず脚のみの動作によつて泳ぐもので、色々方法があるが踏足立泳について説明しやう。(第6圖参照)



第6圖 踏足立泳

踏足立泳は兩脚を交互に横後方に踏むだけである踏むときには強くhighspeedに踏みつけねばならぬ。かくすれば(A)式の $v^2$ が大きくなり従つて $R$ が大きくなり水が身體を支へて呉れ、恰も一時的に布團の上に立つた如き状態となる。而して抜くときはゆつくりと抜く、そうすれば抵抗が小さく身體が沈まない。かくの如く同じく水中で足を動かすにしても、突込む時と抜く(抜くと云つても空氣中に出すのではなく關節を曲げて水面に近く持つて來るだけであるが)抜く時とのspeedの加減のみで浮力が附くのである。この場合同一speedで抜き差ししたのでは全く浮力は附かない。

クロールや抜手の腕の動作に於いては、先方に手を出すときは空氣中に於いてなし、體の方に引寄せるときは水中に於いてなすのであつて、恰度ボートのオールの様なものであるから、身體が前進する事は誰にでも了解が出来るのであるが、踏足立泳に至つては脚は全然空氣中に出さず、水中のみで抜き差しするだけであるから浮力が附くことが一寸了解出來にくいのであるが、前述の如く $v$ の大小によつて $R$ に大小を生じ、浮力を生ずるのである。式を用ひて之を證明するなら次の如し。

脚を差し込むときのspeedを $v_1$ とし、このとき水が身體に與へる抗力即ち身體を押し上げようとする力を $R_1$ とすれば

$$R_1 = \frac{1}{2} \rho S C x v_1^2$$

次に抜くときのspeedを $v_2$ としそのとき身體を押し上げようとする力を $R_2$ とすれば

$$R_2 = \frac{1}{2} \rho S C x v_2^2$$

然るに今 $v_1 > v_2$ とすれば $R_1 > R_2$ となり $R_1 > R_2$ なる力によつて身體は浮くのである。尙ほこの場合踏むときに(A)式の $S$ を大にし $R$ を大にするため足首を足角に曲げ足の裏で踏み、抜くときには $S$ を小にし $R$ を小にするため足首を直線狀に延ばすと大なる浮力が附く。

以上の外、日本泳法の下肢前鴨後鴨の手其他色々な泳法に於ける前進力又は浮力を(A)式によつて説明したいのであるが、亦の機會にゆづる事にして今回は之で擱筆しやう。(終)

# 鮮満河童道中記

大澤マサ代



突然磯野さんからお電話あつて朝鮮の鐘紡全南工場から水泳コーチの招聘があるから誰か飛込の方で行く人はいないかとの問合せだつた。一ヶ月の豫定だから若い人はどうかとの懸念もあつたらしい、獨り者の氣軽さで、では私が行きませうとお返事して了解。實を云ふと私の競技生活も今年で十年目になつた。何か記念に残しておきたいと考へてゐた處だつたし朝鮮飛込界に多少共御力添へ出来ればと大それた念願を持つてコーチをお引受して了解つたわけ。時あたかも皇紀二千六百年。私個人の記念としては正に勿體なき過ぎる程だ。永久にオリンピック出場と共に思ひ出に残る事と獨り喜びにひたつてゐる。

さて御同行下さる永見淑子嬢と二人途中大阪での東亞關西大會水上競技會のエキジビション出場の爲六月十四日午後八時の神戸行急行にて出發する。磯野さんはじめ丁度社用で御上京中の牛島工場長外友人方多數のお見送りを頂いて汽車は速力を増しつゝお江戸を離れた。

水不足だつた東京に引きかへて大阪は着くなり雨に祟られ滞在中(三日間)ずつと降りこめられて了つた。眞田山プールはなかなか感じが良い。飛込臺は5米臺と3米、1米の飛板だけが飛びやすいと思つた。小柳兄外と御一緒させて頂き久しぶりで飛ぶ。

いよいよ九時五十五分發で下關へ向ふ。雨に降られ通して少しばかりしよげてゐたが之から朝鮮へ渡るとなれば元氣も快復して寝むくもない位だ。

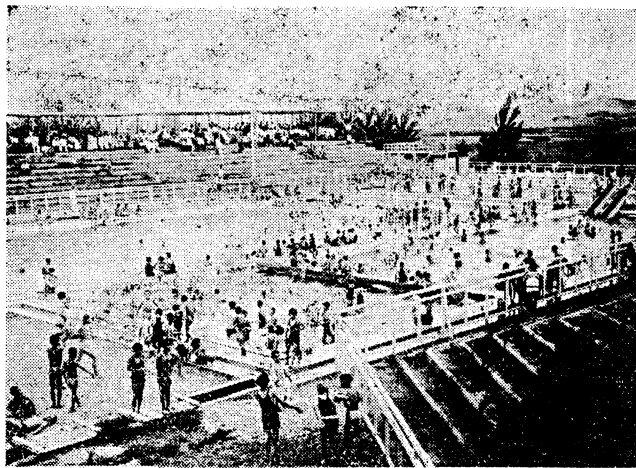
小郡より先に電報で知らせておいたので松村昶子さんが見送り乍ら出てゐてくれた。三月以來の邂逅なのでホームでは抱き合はんばかりになつかしがつて呉れる。下關では麗水港行の連絡船が午後四時の出帆なので時間もたつぷりある事とて九州へ渡らうではないかと衆議一決、門司へ上陸する。此處も九州の一角故廣い九州ではあるがまあ來た事にはなると獨りで承知して波止場へ行く。丁度東亞大會の滿洲代表選手團を乗せた鴨綠丸が解纜する處だつたの

で見送る。

御連れ下さる西山氏の案内で關麗連絡船昌福丸に乗船キャビンに納るま。昶子に見送られて出帆、何時までも見えてゐる昶子のピンクの洋服姿が見えなくなる迄には卅分以上もかゝつた。船の別れは後をひく。

平穩無事な航海を終へて六月十九日午前十時半頃麗水港着、税關の検査も簡単に済みたゞちに木浦行列車に入る。四年前伯林遠征の途時通過した朝鮮ではあるが、この線は初めてなので矢張り珍しい感じがする、淑子さんは生れて初めての長旅とて何もかもが珍らしくすつかり喜こんでおいでの様子だ。知らぬ間に光州に着いた。

驛には工務主任外工場の幹部方がずらりと出迎へて下さつたのですつかり恐縮して了解。挨拶を簡単に済ませ工場の車でプールへ。



(全南光州の鐘紡プール全景)

光州は全羅南道の道廳の所在地だが又なんと小さな町ではある。人口六萬五千とか聞く。鐘紡の工場は街を離れた處にあつて工場に隣接して社宅が林立して居る。立派な事光州第一であらうか。事務所で改めて御挨拶申し上げ色々ところの様子等伺ふ。プールは明日でもとおつしやつたが先づ拜見するだけでもと案内して頂く。未だ水は張つてゐなかつたが50米、25米、子供プール、とそれに飛込プールを備へて素晴らしいものであつたのには驚かされる。

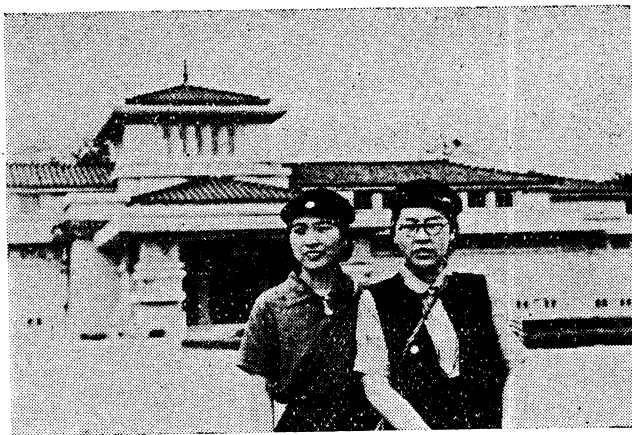
飛込臺の改造その他で公開は月末になるかも知れぬとあつてあはて、飛んで来ただけにいさゝか悲觀する。翌日知事官舎、光州日報社、大和高女、中央小學校に挨拶に行く。朝鮮全島の水泳熱はいまだ熱しておらず水を恐れる氣持を多分に有してゐる事と水泳場の設備の無い事が二大原因をなしてゐる様だ。(以下日記風)

廿一日は終日拜借した私達の宿舍五號社宅にて休息する。水氣を失つた河童連元氣なし、慣れぬ朝鮮の暑氣には參る。見物を兼ねて練習乍ら京城、平壤方面へ行つて來られたらとの工場側の御勧めに喜び勇んでたゞちに出發。内地と異り鮮鐵は廣軌なので寢臺も巾廣くゆつくりしてゐるので大へん樂だ。

廿二日は午前七時半に京城着。驛樓上の食堂で朝食を攝り時間をつぶしてから鐘紡サービスステーションへ宿を頼みに行く。本町通りなどは内地とちつとも變りない程賑やかで朝鮮らしい處は一つもない、只通りの人達の服裝がチマでありチヨグリである外は――。

西山氏御苦勞の甲斐あつてやうやく南大門近くの大家旅館に宿とる事が出來た。何處へ行つても汽車と宿舍の心配には困られた様だ。暑さにすつかり負けてぐつたりする。本町鐘紡階下の千疋屋パーラーで喰べたサンドウキツチ及びフルーツアラモードの美味しかつた事といつたらない。宿に引上げてから少しウトウトねむる。

龍山にプールがあると云ふのですぐに出掛ける。受付に刺を通じて練習させて頂く。25米プールで1米と3米の飛板、5米の固定臺を有しておられる小ぢんまりとした良いプールだ。緑の木蔭にあるせいかわどく涼しさうに感じられる。三米ボードも飛びやすく得意? のパイクと一回半宙返り等飛んで遊ぶ。惜しむらくは水深が淺く氣にするので腕前は自信があるのだが(ほんとかナ)入水が目茶目茶。淑子さんは日本泳法一點ばり、さんざん泳ぎまはつて七時頃迄遊ぶ。疲れて歸つて來たのだが朝鮮神宮に參る。西山氏と濱野氏は棄權して私と淑子さんの二人、三百八十四段の石段をトレーニングのつもりで休まず息もつかずに登る。皇軍の武運長久を祈つてからはるかに宮城を遙拜。眺望きはめて良し、これでこそ京城府なりか! 街に燈がともつた。ネオンサインの光りも見える。月が出はじめたのは九時すぎ、日ぐれかてらの涼しさは氣持良い。靜かに夜



(平壤鐵道博物館前にて)

は更けて行く。

廿三日 今日のプランは午前中京城府營プールを見學、午後は市内見物と云ふわけ、朝珍らしや、元日大飛込選手でいらした首藤武久君から電話頂く、一月に歸還され除隊なされた由。府營プールでお目にかゝる事にして電話切る。荷物は帳場へ預けてプールへ車を飛ばす、構造は神宮プールと思へば間違ひなしだが水が汚い。丁度開催中の二千六百年奉祝水泳大會を見學する。首藤君休憩時間に飛んで呉れと無理おつしやるが水着持参しなかつたからと危く逃げる。驛迄戻つて來て食事してから二時の遊覽バスにて市内見物と出かける。先づ大漢門だ、徳壽宮を背景にして記念撮影をする、歸り迄には出來上つてゐるさうな。慶會樓の美しさはひとしほ、影を水にうつして又とない風情をみせてゐるが撮影禁止であきまへん! 昌慶苑、博文寺等を見物して疲れて歸つて來たが河童は水の子だ、すぐに又龍山プールへ淑子さんと二人して出かける。鐵道局水泳部長大島庶務課長がわざわざ日曜日だと云ふのに御出かけ下さつて歓迎して下さい。淑子さんの泳法及び私の飛込を少しばかりお見せする。水泳部員多數お集り下さり鐵道ホールで歓迎會開いて下さつた。その上本町通り(京城銀座通り)へ御案内頂き又平壤への寢臺から平壤鐵道ホテルの部屋迄御手配下さる。種々の御配慮にすつかり恐縮して御禮の言葉もない。

廿四日 一夜明ければ雨になつてゐる、珍らしい平壤の雨の日に出逢つたわけ、大同江も水量を増してきた。Y・D・Cにゐらした齋田氏がこちらの電氣課の助役をしていらつしやるが首藤君から電話があつたがとホテルへお電話下さる。後から來て下さつて雨で遠く迄は行けませんが妓生學校見物に連れて行

かふとおつしやつて出かける。三年の修業年限を良くやると思ふ程厳格なものだ。丁度内地の長唄に相当するものを稽古していた、先生の長鼓に合はせて立て膝ついてなかなか良い聲で唄つてゐたツケ、片方の部屋ではお習字をしてゐた。街を少しブラツいてからホテルに歸つて内地の友達へ便りかく。

廿五日 目が醒めたのは六時半、外は未だうす暗い、お天気が悪い爲だらう。お天気がはつきりしないしするので部屋でおとなしく時間を過す。三時頃齋田氏よりお電話があつて牡丹臺へ連れて行つて下さると云ふ。平壤のプールは水が冷めたくてこんな雨模様の日は寒いからとの事故残念乍ら中止する。齋田氏が迎へに来て下さつたのと西山氏の許へ全南工場からプールの改造工事おくれるから満洲の方へも案内する様にとの電報が届いたのと同時だつた。思ひがけない満洲行に女河童共すつかり喜こんで了ふ。が考へてみると着たきり雀で光州を飛び出して来たまゝなのでいさゝか心細かつたがエーイどうともなれとばかり書生ツボみみたいな氣持になつてすぐに行くべく手配したが西山氏の都合で明夜に出發延期する。五時から齋田氏に案内して頂いた乙密臺、玄武門、お牧の茶屋等々見物させて頂く。お牧の茶屋ではとても美味しい鮎の甘露煮を喰べた。朝鮮に来てこんな美味しいものが喰べられ様とは思はなんだ。

今夜は大同江の鐘紡平壤工場のクラブハウスへ泊る。旅の疲れも漸く激しくなつて抜けない様だ。

廿六日 出發の時間調べや何やらで一日轉手古舞する。九時四十分平壤發北京行急行大陸號にて満洲へ向け出發。齋田氏一家がお見送り下さる。席も樂に取れて安心して奉天を目指せる。

廿七日 安東にて型の如き税關の調べあり、夜は次第に明けて行く、七時五十三分に奉天驛ホームへ列車は滑り込む。禮子のハズ西澤出迎へて呉れる。ホービルホテルに部屋が決る。

西澤に案内して貰ひ奉天城内から忠靈塔、奉天神社、千代田公園と見物して歩く、千代田公園内のプールは未だプール開きしてない由、残念々々。ヤマトホテルグリルで食事してホテルへ歸る。

廿八日 市内見物に行くのが時間おくれて洋車で遊覽バス追つかける。忠靈塔で間に合つた。あはたゞしい一日、捨子を受取る救生門のある同善堂から北陵、北塔、柳條湖爆破地點、北大營、城内を経て



(牡丹臺、乙密臺にて)

奉天神社を最後とし驛へ戻つてくる。今日は流石に疲れた、こんな時一寸水へ飛び込んだらすぐに元氣になれるのだが……。夜おそく満洲日々新聞社の方から電話掛り若しプールが御使用になりたかつたら御世話しますとの事、大喜びで宣敷く願ひはしたが時間が無い、一度はお断りもしたけれどあちらでも是非にとおつしやるので都合つけて朝の九時から浪速女学校のプールを拜借させて頂く事にした。

廿九日 寝坊して朝食濟ませて下りて来るともろ満日の記者殿お待兼だつた。荷物は全部驛へ届けて貰ひ商賣道具? だけ持つて案内して頂く。古いかめしい建物、校門を入ると左に御眞影安置所がある。最敬禮の後校長室に招かれ校長さん以下職員生徒さん方の歓迎を受けて恐縮赤面の至り。あやしげなクロール、バツク、プレスと、一重伸し外日本泳法を永見さんと二人でお見せする。スタート、ターンなどもほんの眞似ごとだけやつて勘辨して頂く。余り進歩してゐないこちらでは女子の競泳も記録的には全く駄目で然るべきコーチを頼みたいとお話しも伺つた。飛込に至つてはスケートのフキギユア同様幼稚なものださうだ。少しこの方面に盡力したいと大それた考へを持つた次第。授業時間を休んで見學して頂いた私達のお粗末な水泳も亦一時間で終了し校長先生にお禮をのべて記者殿に送られ新京へ向ふべく驛へかけつけた、新聞社の方々の御親切なお計ひにより大へん楽しい時の持てた事を改めて御禮申し上げその上に新京市公署庶務課長の北村太市様への紹介状迄頂いて十一時廿分發新京行の列車に乗込む。前に来た時に比べて立派に變つた新京市には驚かされた。新京神社横の國都ホテルに陣取る。夜は暑さ拂ひにと散歩に行く吉野町通りは賑やかだ





(牡丹臺オ牧の茶屋にて)

卅日 遊覽バスが満員で終日部屋で暮す、暑くて外へ出る気もしないからだ。淑子さんは側でぐっすり眠つてゐる。羨ましい程良く寝る子だ、女中さんが余りお退屈さうですからと云つて雑誌を借して呉れた。

夕方大同公園のプールを見學に行くべくヤマトホテルで鐘紡の方々と待ち合はせてゐるとあちらの隅の人がいやにデロデロ私を見てゐる、をかした人だなと思ひ眼を外らせてからあゝさうさうこちらに石田さんが来ていらつしやる筈だともう一度顔を見た

らなんとそれがブーさん(石田氏のニックネーム)だつたのでびつくり。何年振りかでお目にかゝるわけだ。丸刈りの航空兵中尉殿だ。色々こちらの事も伺ひ私も東京のニュースお聞かせして舊交を暖めた。お話し中又お珍しい方が聲を掛けて下さつた、昔法政水泳部にいらした竹内八郎氏だ。奉天にお勤めの由、今日は日曜日だから遊びに来たのだとおつしやつていらした。こんな處でヒョッコリとみなさんにお目にかゝれたなんて實に意外だ。あちらでもさぞかし驚かれた事だらう。懐しかつた。大同公園のプールはパイプが毀れて五日にプール開きが延びたさうな、残念な事、ブーさんも明日プール開きと決つていたのに残念だね、明日だつたら一緒に10米が飛べたのにとさも惜しさうにおつしやつていらした、さうだ思ひ出せば私が初めてロスアンゼルス豫選會の時10米飛ぶ時にはブーさんが一生けん命になつて世話焼いて下さり、下では山内コーチが大聲で私を頑張らせて下さつたつけ、あれ以來の事故私も今恐がらずに飛べる様になつたのだから一度御一緒に飛んでみたかつた。五日迄待たうかな、まさか!

何處へ行つても河童の本性現はしてプールは何處ヤーイと探し廻るので御同行の西山氏等物好きです、ね、とあきれてゐたつけ。楽しい永い旅行を續けつゝがなく光州の鐘紡プールへ舞ひ戻り及ばず乍らみなさんと御一緒に練習させて頂き御役目を果して歸つて來たのは關東豫選の前日でこちらのお仕事のお手傳ひを何一ツとしてやれなかつた御無禮をこゝにお詫びすると同時にまとまらぬ旅行文の一部を御披露する次第。御世話になつた各地の先輩諸氏はじめ新聞社の方々にも改めて御禮申し上げ河童道中記を終ります。





# 第十一回明治神宮國民體育大會團體長距離競泳記

大會記錄委員 渡 邊 延

競技時刻 昭和十五年八月十一日(日曜日)自午前八時  
至午後二時  
水 域 横須賀軍港防波堤ヨリ横濱二ノ谷海水浴場=  
至ル海上 10 キロ直コース  
水 温 21°—23° 氣 温 22°  
風向風速 北東 5 米  
天 候 曇後雨

は 2000 米競泳路幅員の外側より見たるものにして前後目側による左右の間隔は不明なるも大體 500 米内外の開きに見ゆ、2 は 500 米も右方を獨泳す。

30、29、6、24 は第三陣を承はり力泳す。  
後尾 1 は 27 より 1000 米の差あり。

午前 10 時

27 益々調子よく直コースをとつて進み續く 31 を益々引き離す。26、28、3、23、25、18 之に續き、第三陣は 18、29、32、30、6、24 となる。此時既に 4、7、15、19 の各泳團は故障のため乗船し海上の様子は益々悪条件となりつゝあり。

午前 11 時

27 に續いて 31、3、26 は何れも力泳又力泳勝負中々豫斷を許さず 31、3 は共に疲れ 26 躍進す。1、9、16、21、23 は棄權之にて殘は全泳團の  $\frac{2}{3}$  となる。

◎第 27 泳團(佐世保一組)は午前 11—31—44 ゴールに入る。ゴール少し手前にてコース稍左寄りの嫌ありたるも一人のへバリたるものもなく 200 米前にて指揮艇にはなれ陸上觀衆の拍手に迎へられ一列横隊を以て美事に泳進先づ凱歌を奏す之れにて熱海以來佐世保三連覇にて偉とするに足る。

正 午

正午を過ぐる 3 分 23 秒 26 (吳二組) 第二着ゴールイン塚宮一美、平山肇若干疲勞の様に見ゆるも大體打揃ひ元氣にして本年琵琶湖上遠泳制覇の實力をこゝに發揮す。

31 は 3 とせり合ひ共に疲勞し遂に 26 に抜かれて第三着となる興倉清人痙攣を起せるを中村強輔水禪にて曳泳せるは美事なり。

此時、既に 2、5、13、14、18、20、22 棄權し

## 1、優勝旗返還式並發會式

午前七時十五分横須賀軍港逸見上陸波止場空地に於て厚生大臣代理兒玉次官、海軍大臣代理長澤中將、末弘日本水上競技聯盟會長以下役員並に 31 泳團選手一同參集、前年の優勝者佐世保鎮守府チームより海軍優勝旗厚生優生盃を夫々返還次て末弘聯盟會長審判長として一場の訓示をなし終つて出發點に向ふ。

## 2、競技開始

東西約三百米に互る 31 隻の横付舟艇より出發す時に午前 8 時 10 分

各泳團指揮乗船の舟艇(機働)は泳距離 500 米開始後 10 分内外の所にて指揮の位置につく。

潮流と風の方向を考慮し各チーム各様のコースを取れるものの大體直コースに近く只 2 泳團(濱名 A) は遙か右方寄りに進む。

27 泳團(佐世保 1) 最先頭を切り 31、26、28、3、32 等之に續く。

## 3、競技中の状況及び終結

潮流は微弱ながら追ひ潮なるも北北東の風稍強く海上少しく荒れ模様を呈す。氣水温又低きに失し選手の辛苦大なり。

午前 9 時

27 先頭 300 米離れて 31 之に續き 26、28、3、32 等 20 米乃至 100 米の各差にて續泳、之れ等

3、6、10、11、12、24、25、28、29、30、32の各泳團續泳中。

午後1時

32、28、30、29は相次で正午を過ぐる48分迄にゴールイン3(立大)は惜しき所200を残して棄権12、25又乗船6、10、11、24續泳す。

其後

午後1時35分5秒横寺一般男子の完泳者として同1時41分14秒神戸市青年團、青年團勝者としてゴールイン。

あと10、11は午後二時まで泳ぎ切る見込なく遂に乗船を命ず。

此時細雨風を交へて漸く繁く展望全くなく競技の海面を閉す。

別表は目測による各泳團の泳破距離、上部數字は乗船時刻を示す大體のものなるが参考として記す。

4、午後2時競技を終了す

5、閉會式

午後四時より横濱ヨットハーバーに於て他競技と合同海洋競技の一部として行はる。

海軍大臣賞、厚生大臣賞は三たび佐世保の獲得する所となる。海洋競技に對する厚生大臣代理並に委員長の講評ありて海軍軍樂隊奏樂裏雨中思出の式を終へ芽出度く夏季大會の幕を閉づ。時に午

後四時四十分なり。

6、後記

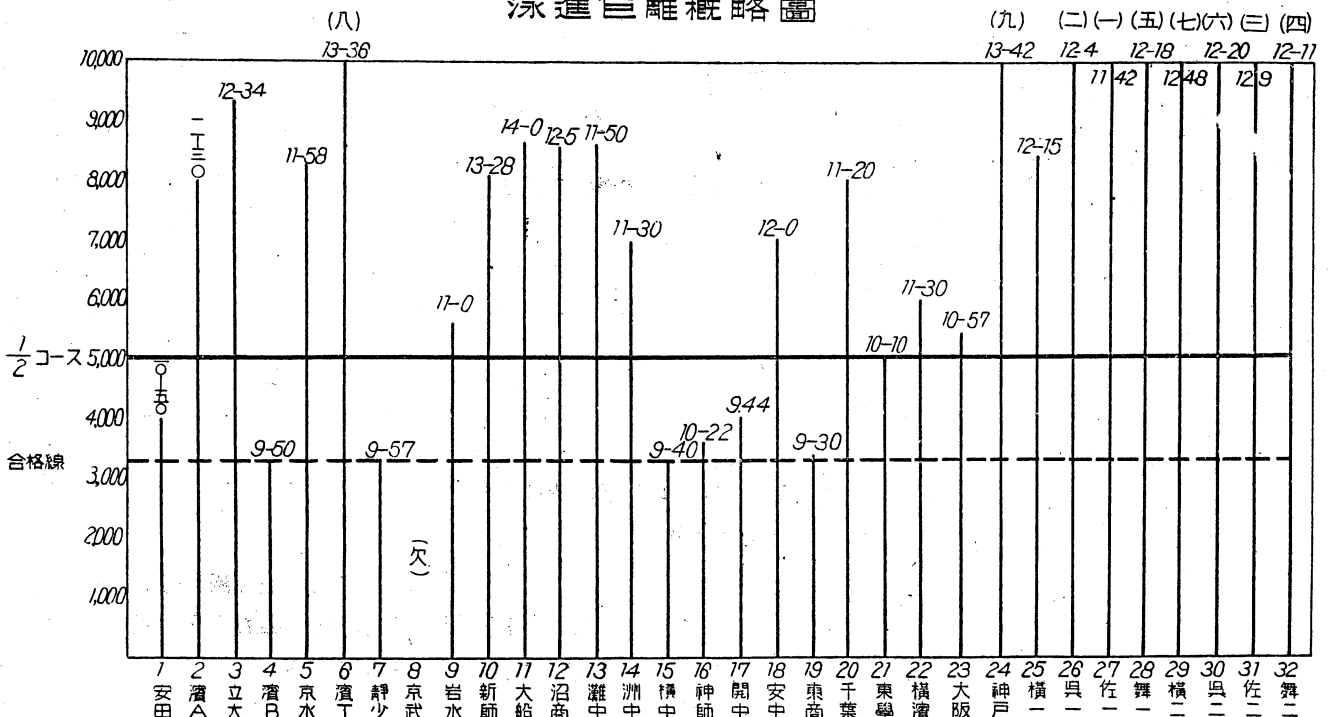
(イ)海軍以外の選手が著しく勝手の違つた觀あり海軍に於ける熱心なる豫行練磨は明かに効果的なりしと共に比較的速成の一般チームは第一練習に於て又其他の狀件に於て著しく不良であつたことは見逃せない。次回には貴重なるこの體驗を生かして海軍と同等のコンディションに於て競技を行ふ様にせねばならぬ。

(ロ)海洋の名に於て少しく箱庭的と思つたに拘らず天候と云ふ變動性の大きなるものにぶつかつて難澁を味つた譯である。佐世保一組のこのコースで前日の練習タイム二分二十秒だつたのとどが今日は一時間以上の延着である。も少し天候がよかつたらば最初のことでもあるし萬事都合がよかつたと思ふけれども之ればかりは仕方のないものである。長澤委員長の言の如く「天與の試練」であり「困難にめげない」日本男兒の演武場であつた譯だ。

(ハ)競技終了に近く學童の團體遠泳が海上から太鼓の音も勇ましく進入した。金澤から2キロ半を20校240名の兒童が五編隊を以て堂々泳破せるは悪天候の下特に賞賛に値する立派なものであつた。

以上

泳進距離概略圖



泳團	所屬	指揮者(1) 泳者(2-5)	着順 時間	競泳状況	所見	監察員
1	安田銀行クラブ 一般男子 (1乃至8)	1 關根政二 2 石田功郎 3 澤村清一郎 4 關二郎 5 服部義男	失格	午前 10 時 50 4000 米にて乗船	關二郎屢々痙攣を起す 一般に苦泳す 平泳を用ふ	小林一二三
2	濱名灣 A 組	1 笥精一郎 2 早川正策 3 早川源孝 4 大杉信一 5 松山正一	失格	午前 11-30 乗船	單獨沖のコースをとる 波に苦しみ速力遅し 速泳を用ふ	水内多喜夫
3	立教大學	1 阪本响一夫 2 本間俊主 3 岩切武次 4 本田武務 5 岩田	失格	午後 0-34 決勝線 200 米前にて乗船	波浪の爲め後半苦泳 本田武次痙攣を起す 速泳を用ふ 惜しき所にて失格	松崎保
4	濱名灣 B 組	1 坪井一夫 2 石塚藤一 3 藤井正司 4 高山良美 5 多々良喜代美	失格	午前 9-50 乗船	多々良喜代美足痛により乗船 天候及海上模様不良なりしも 棄權早し	平野榮一
5	京都市上競技 聯盟	1 松本治一 2 樋口榮一 3 坂上清太郎 4 東茂夫 5 小仲邦夫	失格	寒さの爲め 11 時 58 分乗船す 速泳を用ふ 10 時 10 分頃より波高くなり 困難となれり	仲々調子良好なりじも水冷に 堪へざりしは遺憾なり	後藤定松
6	濱寺水練學校	1 杉本末春 2 香川莊一 3 山口久雄 4 山尾一郎 5 村田岩三	8 5.25.5 (一般男子一等)	初め速泳にて正午頃より平泳 となり午後一時三七分ゴール に入る 最後ノ 800 米香川莊一は山尾 一郎を助け泳ぐ	山尾の疲労に對し香川は之を 助け肩にて曳泳せるは美事なり	八木覺惠
7	靜浦少年團	1 大橋壽弘 2 渡邊良司 3 小池立勇 4 足立和一 5 靱山	失格	平泳にて泳ぐ 海水の寒冷により渡邊弘胸痛 を起す 午前 9 時 57 分遂に乗船す	天候不良の爲十分力量發揮出 來ず	土居幸喜
8	京都武徳會	1 2 3 4 5 參加中止				
9	岩手縣立水産學校 男子中等 (9乃至19)	1 崎山隆造 2 木村八哲 3 山内新吉 4 富田利一 5 豐間根利	失格	速泳を用ふ 富岡新一 10 時 30 分より腹痛 を起し 11 時遂に乗船す 約五千米泳ぐ	病者を出したるは遺憾なり	中川時雄
10	新潟縣師範學校	1 原田靜治 2 澤井芳雄 3 早川好美 4 井上喜一 5 大谷	失格 (時間中止)	速泳を用ふ 何れも元氣に泳ぎ時間が許せば ゴールに着きたるならんも 午後 1 時 30 分に至り残り 約 2000 米あり完泳不能につ き午後乗船を命ず	スピードなきため所用時間多 く遂に乗船の止むなきに至れ るは遺憾なり	山口卓之

泳園	所屬	指揮者(1) 指揮者(2-5)	着順 時間	競泳状況	所見	監察員
11	商船學校 山口縣立大島	1 岩原系吾 2 椿一 郎 3 五十嵐欣一 4 治田稔 5 井田功	失格 (時間中止)	速泳を用ふ、 志氣大に振えるも時間経過に伴ひ疲労増加し午後二時迄に終了する能はず乗船を命ず	スピードなく遅れ所定時間内に全泳の見込なく中止したるは遺憾とす	林好
12	商業學校 静岡縣立沼津	1 鳥居貫一 2 池田剛實 3 山本秀實 4 土佐谷二男 5 大川敏	失格	速泳平泳混用す 山本秀實痙攣を起し午後0時5分遂に乗船す		坂本重信
13	學校 兵庫縣立灘中	1 吉永鐵次 2 黒澤佑一 3 多田茂郎 4 柴山太哲 5 後尾	失格	速泳を用ふ、 柴山太郎疲労し危険の爲め午前11時50分ゴール前1000米にて乗船す	指揮法コース其他皆立派なり唯一人身體不工合となり功を逸せるは遺憾なり	池野忠司
14	中學校 兵庫縣立洲本	1 仁木一 呂 2 日野敏 一清 3 酒井井 重保 4 福井重 5 和田重	失格	速泳、背泳、平泳等混用す 和田重保疲労大にして續行危険となり7000米にして乗船す	出發初め混亂し決勝點の不明其他意氣振はざる所あり	山本重作
15	須賀中學校 神奈川縣立横	1 山崎忠雄 2 金井一博 3 大沼昇吉 4 小峯多忠 5 相多	失格	速泳を用ふ、 合格線にて大沼博、相多忠司疲労の爲乗船	競技不慣練習又十分ならざる所見ゆ	田中大
16	學校 神奈川縣師範	1 橋本功夫 2 齋藤哲昌 3 小島昌次 4 蒲谷松之 5 長嶋伊之	失格	速泳を用ふ、 合格線にて蒲谷松次疲労の爲め乗船	一名水中痙攣を起し編隊出來ず皆元氣なるも遂に失格す	高垣一男
17	開城中學校 神奈川縣逗子	1 長井充雄 2 戸田吉賢 3 原和夫 4 藤村泰一 5 曾爾	失格	速泳、平泳混用す 4000米附近にて戸田吉賢痙攣にて遂に乗船	闘志旺盛を缺く嫌あり	福永音太郎
18	中學校 千葉縣立安房	1 山口健郎 2 高三一節 3 曾我夫二清 4 石井 5 井	失格	速泳を用ふ、 正午まで力泳せるも高木一郎疲労甚しく遂に乗船	相當の泳者揃なるも波浪のために疲労し完泳出來ざりしは遺憾とす	打越實
19	商業學校 愛知縣立東邦	1 見田公一 2 齋藤洋志 3 忠内知加 4 小野正臣 5 飯田敏夫	失格	速泳を用ふ、 合格線にて小野正臣痙攣を起し遂に乗船	相當元氣に泳ぎたるも一名の故障により遂に失格す	千葉誠
20	青年團 千葉縣	1 櫻井儀一郎 2 宮野敏郎 3 鈴木良大夫 4 鈴木義一 5 寺島俊	失格	速泳、平泳混用 午前十一時二十分乗船 鈴木良太、鈴木義夫疲労大なり	練習不足なりしを惜しむ	中田重夫

泳團	所屬	指揮者(1) 指揮者(2-5)	着順 時間	競泳状況	所見	監察員
21	青市 青年團東京	1 小泉昇 吉 2 早川 博 3 玉木 孝 4 小美野 芳 5 高野 正	失 格	速泳を用ふ、 5000 米にして乗船 玉木孝則疲労による故障なり	玉木孝則腹痛を押して出場せ る爲め遂に完泳不能となる	竹本四郎
22	青市 青年團横濱	1 柳金子嘉 市 2 金子賢 太 3 池田 耕 4 岩田 清 5 神崎 清	失 格	平泳を用ふ、 午前 11 時 30 分岩田耕二疲 勞に依り乗船す コース約 6000 米泳ぐ	今少し頑張ること必要なり	塚本均吉
23	青市 青年團大阪	1 松影憲 次 2 田淵 清 3 田近 憲 4 友山 福 5 山近 三	失 格	平泳を用ふ、 午前 10 時 7 分 田淵豊腹痛により乗船	風浪に悩む 田淵豊、友近憲治少痙攣あり 田淵の腹痛により完泳出来ず	山口正雄
24	青市 青年團神戸	1 行山水 治 2 中山 次 3 水中 光 4 田中 彦 5 田中 昭	9 5.31.14 (青年團等)	速泳を用ひ少許平泳を交ゆ 最初沖コースをとり後に左行 せるを以て損あり	相当疲労せるに拘らず最後迄 頑張り有終の美を挙げ得たる 競技精神は美事なり	橋本千一
25	海軍一組 海軍横須賀	1 佐藤藤 由 一 2 高橋 純 爾 3 芳賀 留 勇 4 河野 野 季 5 岩野 山 雄	失 格	速泳、平泳混用 岩山季雄疲労甚しく午前 12 時 15 分ゴール前約 1500 米 して乗船	岩山季雄以外は競技の経験あ り元氣なりしもコース悪く地 元チームとして遜色あり	左近允正矩
26	海軍吳一組	1 岡外本 憲 幹 2 塚定 一 實 3 塚山 美 4 平桐 肇 5 片桐 定	2 3.53.23	速泳を用ふ、 コースは風の爲め稍左寄りな りしも好調を持続せり	塚定一美、平山肇稍疲労と見 えたるも最後に至るに従ひ元 氣を振り完全なる編隊にて泳 破せり	大木千之助
27	海軍一組 海軍佐世保	1 知川念 繁 夫 2 川崎崎 慶 雄 3 有光 北 保 4 河松 下 幸 5 松昌 澄	1 3.31.44	速泳を用ふ、 コースは風の爲め僅かに左偏 せるも殆んど直コースにして ゴール前少しく迂回したるのみ	申分なき泳ぎなり 風浪なかりせば 2 時間 10 分 の練習記録に近き成績なりし ならん	新原拓郎
28	海軍組 海軍舞鶴一	1 大野田文 次 2 野佐久 一 3 村田彌 一 4 齋藤 三 5 坂根 知 三	5 4. 7.23	速泳を用ふ、 後半齋藤仁三郎、坂根知三郎 疲労の色見えたるも調子を亂 さずゴールに入る	元氣盛にしてよく好調を持続 せり	荒井 茂
29	海軍二組 海軍横須賀	1 石川勇 助 2 森川 幸 助 3 高橋 吉 治 4 佐久間 芳 秀 5 榊光 秀	7 4.38. 0	平泳を用ふ、 高橋吉助初め不調なりしに拘 らず次第に好調に轉したるは 美事なり 終り頃佐久間芳治弱る	集結良好にして好調を持続す 他の海軍チームに比しコース 左偏し少しく遅る	富澤 大
30	海軍吳二組	1 河村新 助 2 西川 十 一 3 朝倉 雅 夫 4 吉柴 壽 夫 5 須莊 正 好	6 4. 9.14	速泳を用ふ、 単從列にて進む ゴール近くにて漸く疲労の色 見ゆ	風浪に苦しむこと他のチーム と變りなけれども元氣に泳ぎ たるは美事なり	河野善次
31	海軍二組 海軍佐世保	1 花樹直 助 2 喜田晴 美 3 與倉 清 人 4 河野 勝 5 中村 強 輔	3 3.58.57	速泳を用ふ、 午前 8 時 10 分スタート午 後 0 時 9 分ゴール初め 27 泳團を置いて少し遅れ次に 3 泳團と並び相当無理泳ぎをな し與倉疲勞他之を援け力泳す	ゴール近く與倉の疲労少し 遅れ 26 組に抜かる隊員協力 就中中村、河野等の曳行力泳 美事なり	河野日出雄
32	海軍組 海軍舞鶴二	1 山口四 郎 2 野木 由 藏 3 阿部 十 三 4 日置 二 一 5 伊藤 新 一	4 4. 1.50	平泳を用ふ、 コースは風に押されて少しく 左寄りとなる 一列線隊先頭時々交代よく纏 まりて進む	泳進状態非常に良好後半益々 元氣に 11 時を過ぐる頃より 力泳又力泳數泳團を抜く實に 模範的なり	吉田勝平

# 第十一回明治神宮國民體育大會 學童團體遠泳成績一覽表

期日 昭和十五年八月十一日。 天氣曇後雨。 氣溫23度。 水溫21度—23度。 風の方向北東風。 風力5米  
 出發豫定地 横濱市杉田海岸。 出發場所 八幡橋沖。 到着場所 二ノ谷海水浴場。 距離 2.5 軒  
 出發時刻 第一團 午前 10 時 57 分 } 1 時 55 分 第五團 午前 11 時 18 分 } 1 時 55 分  
 到着時刻 " 午後 0 時 52 分 } " 午後 1 時 13 分 }

第一團 (女子)					第二～五團 (男子)				
學 校	參加者	完泳者	乗船者		學 校	參加者	完泳者	乗船者	
東 京 市 大 井 高 等	7	6	1		東 京 市 京 橋 高 等	5	1	4	
" 濱 川	4	4	0		" 二 葉	4	2	2	
" 鈴 ヶ 森	2	2	0		川 崎 市 中 原	14	8	6	
" 二 葉	3	3	0		横 濱 市 青 木	6	3	3	
" 佃 島	4	3	1		" 石 川	12	4	8	
" 王 子 高 等	1	1	0		" 本 牧	11	4	7	
" 第 五 大 島	2	2	0						
横 濱 市 青 木	2	2	0		第 二 團	52	22	30	
" 杉 田	5	5	0		東 京 市 城 南	4	4	0	
神 奈 川 縣 長 井	9	7	2		" 濱 川	7	6	1	
" 眞 鶴	15	14	1		" 鈴 ヶ 森	5	4	1	
" 福 浦	4	3	1		" 第 五 大 島	5	1	4	
第 一 團	58	52	6		" 王 子 高 等	3	1	2	
學 年 別 成 績 統 計 表					" 大 井 高 等	17	9	8	
性別	學 年	參加者	完泳者	乗船者	" 佃 島	4	4	0	
男 子	尋 常 科 四 年	3	2	1	第 三 團	51	33	18	
	" 五 年	6	5	1	神 奈 川 縣 長 井	19	11	8	
	" 六 年	55	38	17	" 岩	5	3	2	
	高 等 科 一 年	38	17	21	" 眞 鶴	11	5	6	
	" 二 年	75	39	36	第 四 團	35	19	16	
	男 子 計	177	101	76	横 濱 市 杉 田	20	9	11	
女 子	尋 常 科 五 年	2	2	0	" 根 岸	9	8	1	
	" 六 年	23	20	3	神 奈 川 縣 福 浦	10	10	0	
	高 等 科 一 年	12	10	2	第 五 團	39	27	12	
	" 二 年	21	20	1	男 子 計	177	101	76	
	女 子 計	58	52	6	參 加 者 合 計	235	153	82	
參 加 者 合 計		235	153	82					

評 途中乗船者多かりし理由は水溫低く痙攣を起したること。及び逆風と寒さの爲め疲勞の度加はり氣力衰へたるに  
 よること。以上遠泳としては最惡の條件であつた。若し水溫高ければ指揮監督者は泳者を鞭撻して最後まで頑張  
 らしめることも出來たのである。(内藤徹)

※完泳者に對しては日本水上競技聯盟會長より學童遠泳賞を授與せり。



# 本年度水球競技總評

越 川 壽

本年度に於ける水球競技は社務の都合の爲全般にわたつて拜見する事が出来ず、それ故にその批評もほんの小部分しか出来ず當を得てゐない所があるかも知れぬ故豫めお断りして置く。

今年も例年の如く関東水球リーグ戦及全日本選手権神宮大會と共に行はれたトーナメントの三つを大試合として上げ得るのである。此の三試合を簡単に回顧してみれば三試合を通じて本年度の優勝を争つた早慶は實力全く迫中であり結果に於ては慶二勝一敗早一勝二敗に終つてゐるが甲乙のつけがたいチームである。その時のコンディション精神的作用に依つて左右されたものとしか見られない。

唯慶はやゝ技に勝り、早は之をスピードと體力を以てカバーしてゐる結果出足の慶、ネバリの早と云ふことになり、試合開始に當つて全試合を通じ慶應が出足の良い處を見せて、早はやゝ出足に遅れてゐた感が無いでも無かつたが、これが二對一の戦績を生んだのであらう。リーグ戦とトーナメントに於ける得点は全てペナルティーに依つて得たのであり、これが直接勝敗を左右したのであつた。即ち實力の伯仲したチーム同志に於けるペナルティの反則はその試合を通じて大影響をもたらすものである。

此の試合に於ける審判員の退水時期に誤審がありはせぬかとも思はれる。ペナルテースローはもつと以前に行はれるべきでは無かつたであらうか。

扱第三位を不動的に確保してゐる日大の進出は仲仲目覺しいものであつた。優勝を分け合つてきた早慶に對して少しも劣らぬ試合振りを示してきた。ハンドリングに於ても大差は無いのであるから、チームのコンビネーションが取れればもつと早慶をおびやかすに至るであらう。リーグ戦全日本に於て早大を延長に迄引込み慶大と追ひつ追はれつの一シーズンゲームをしたのであるからもう一ふんばりと云へよう。

四位の帝大五位の文大六位の一高は上位三校に比し一段とスピードにも技術にも落ちる。

二、三部校の試合は初めにも申し上げた通りあまり拜見しなかつたので充分なる事は申し上げられないが、戦績から見て六校がかくだんの差を持つて二部で優勝してゐるが、これは當然であり、一部に入つても早慶日帝と五角に行つて普通であらう。

中大の優勝に歸して三部の中で新進の浦和高等が良く頑張り上位にのしてきたのが目立つた。

これに反して往年の一部校商大が、三部に落ちてカムバック出来ないのが淋しい。關西の覇者である關學が第一回戦に於て相手が慶應とは云ひ乍ら10—0で零敗を喫したのは、何と云つても物足りない技術もマチマチではあつたが、闘志が缺けてゐた様に思はれる。もつと捨身になつて打つかるべきだ。

從來我が國の水球は歐米の模倣であつた。これからは須べからく日本水球を考案し成長させて行かねばならぬであらう。まして水球は直接敵とぶつかつて、勝敗を決するゲームであるからその體格又體力が、その試合の成果に及ぼす影響に大なるものがある。故に今迄の如く外人のチームの眞似事では到底國際試合にのぞんでは勝味はあるまいと思ふ。

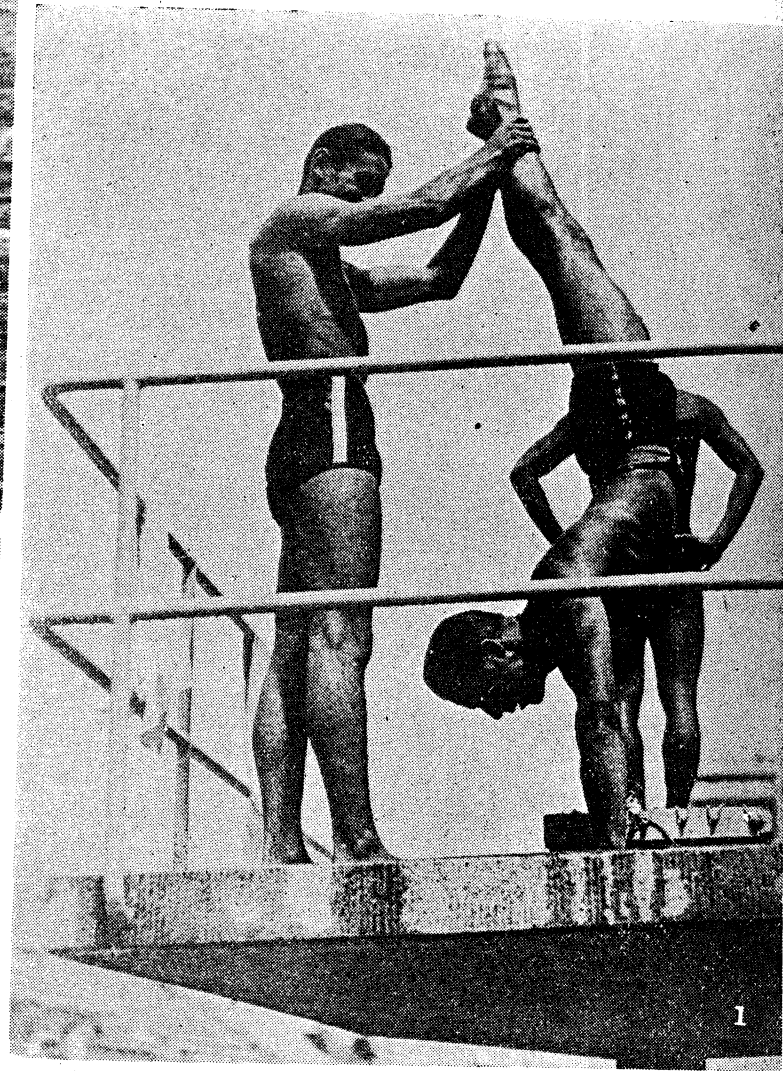
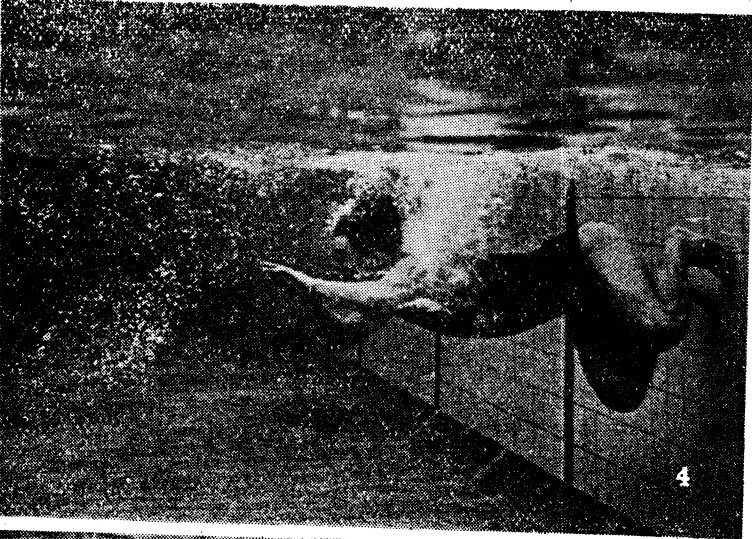
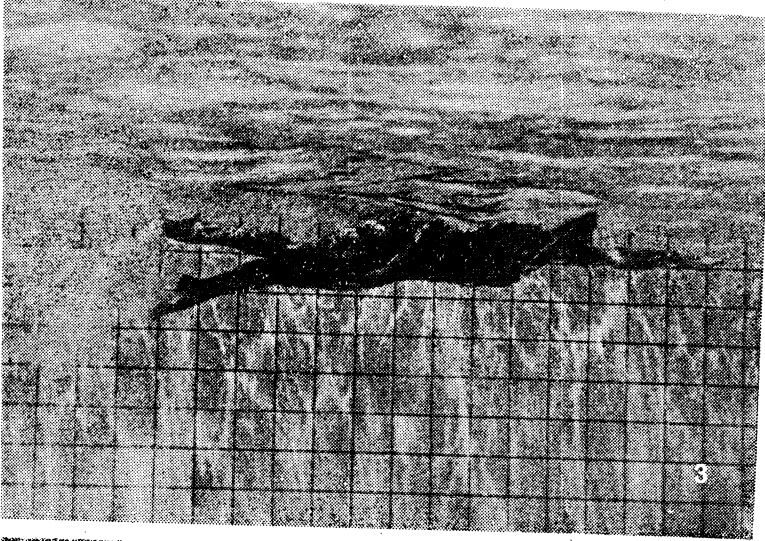
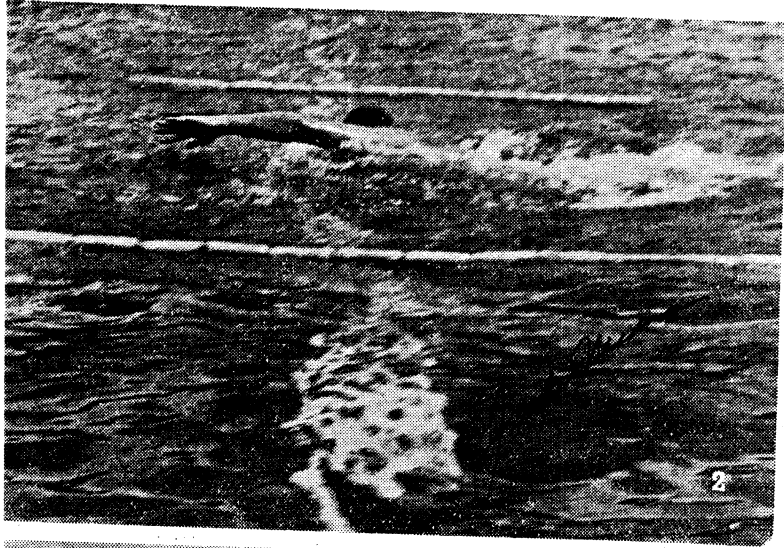
それについて一部上位校の間には昨年末より今年度にかけて新しい戦法の考案のあとがうかがはれる。これは甚だ喜ばしいことと思ふ。

本年度に於ける早慶は二人フローテングの戦法を取入れてゐた。すべからく日本人は體が小さいのであるから前述の様なシステム等を考案し、新しい獨得の戦法を用ひねばならぬであらう。そしてスピードを以て相手チームを攪亂すべきである。

次の審判の問題であるが、審判員は競技者を指導し自分の思ふ様に動かさねばならぬ。競技者につられる様では未だ未だであるから、競技が泥試合に落入るのはどうしても審判員の責任と云はねばならぬ。競技者は審判に見られぬ様な巧妙な反則をするのは當り前である。そうしなければ動てないからである。それを見つけて罰するのが審判の役目であるから、審判員なるものはすべからく私情を放棄し公平なる眼を以つて、試合を善導せねばならないと思ふ。試合開始と同時に自分の信念のもとに一直線の審判をすることであつて途中で競技者につられ甘くなつたり辛くなつたりしては審判員としての威嚴を損ふきらひがある。

最後に競技者は増々競を練り、審判は正確なる判断のもとに嚴格なる笛を吹き、両者がぶつかり合ひ日本獨自の水球を向上させる様努力して戴きたいと切望する次第です。(以上)





## ☆ ストロークの様々 ☆

1. 飛込みの合間に此の調節ぶりを
2. ジャック・メデイカのスピーデーなストローク
3. クロール・ストロークを水中より覗く
4. ターニング蹴出しの寸前
5. 牧野選手の水に乗り切つたストローク
6. 葉室選手の水中ブレストローク

目次に戻る



海

外

水

泳

情

報

## 小山賢之助編

◎**洪チーム八百米繼泳に歐洲新記録を作る**

九月上旬ユーゴスラビアを 22 對 18 のスコアを以つて破つた洪牙利は九月十四、十五兩日スプリットの五十米海水プールに於てユーゴスラビアの一部クロアートとの對抗戦を行つたが、その成績は左記の如く、鹽水の爲に利したのでもあらうか、驚くべき優秀な記録を残して居る。

**四百米自由形**

1. タトス(洪) 4:49.5
2. シーセツク(クロアート) 4:50.6

途中時間 百 1:3.0 二百 2:18.0

タトスの記録は本年度世界第二位、シーセツクのそれは第五位に相當する。

**二百米平泳**

1. フアビアン(洪) 2:50.3
2. エルキニツク(クロ) 2:54.0

**八百米繼泳**

1. 洪牙利(ベガチ 2:18.0 エレメリ 2:19.0 グロフ 2:17.0 タトス 2:17.6) 9:10.6

(歐洲竝に洪新記録)

2. クロアート(クルテイリ・スタクラ・デイフイリビス・シーセツク) 9:25.4 ユゴ新記録

洪チームの四人の今シーズンのベストタイムを合計すれば 9:05.0 となり歐洲記録 9:10.8 を遙かに破る事となるので新記録を期待せられたが、期待に反せず新記録が産れた。タトス四百米の疲勞無かりせば今少し優秀なる記録を得たであらう。

それにしても我がインターカレッジに於て早日兩大學の作つた 9:05.0, 9:09.0 の優秀な事が實證せられた次第である。

**百米自由形**

1. エレメリ(洪) 1:00.4
2. クルテイニ(クロ) 1:02.2

**千五百米自由形**

1. タトス(洪) 20:13.6
2. シーセツク(クロ) 20:26.4

**百米背泳**

1. シガノウイツク(クロ) 1:12.5
2. ガランボス(洪) 1:23.8

**女子公開競技**

百米背泳 ノバク(洪) 1:21.2 洪新記録

百米自由形アクス(洪) 1:11.6

百米平泳 シゲツテイ(洪) 1:30.5

水球 洪 4—3 クロアート

かくて對抗競技は 23 對 13 を以つて洪牙利快勝した。尙前號拙稿本年度十傑中百米自由形第二位佐佐 58.8 及び第八位エレメリ 60.4 二百米自由形第二位宮本 2:13.6 とあるは夫々 58.4, 60.2 2:13.8 の誤植に付き茲で謹んで訂正する。

◎**水の女王ベーガー依然強し**

今年一月丁抹の室内水泳は盡く閉鎖の憂目に合ひ平年ならば春の室内シーズン中既に數個の世界新記録をアナウンスせしむるを例とする丁抹水泳界の至寶、ラングヒルト・ベーガー嬢も、今春母國が獨逸の爲に占領せられ、漸く六月より練習を開始するに至れる爲め、果して世界記録の更新は可能であるか否や相當危ぶまれて居たが、戰敗國に對しては十二分の雅量を示し、文化政策の一としての體育政策は戰時に於てこそむしろ平時よりも一層奨励すべしとするヒットラー總統の政策に幸せられて、ベーガー嬢始め丁抹の無敵女子水上軍が依然たる強味を示しつつあるのは誠に心強い。

メーカーとして千五百米に快心の好調を示し、途中千米に 14:09.2 の世界新記録を産出しつゝ、全コースを 21:10.1 の好記録を以て泳破し、自己の保持する世界記録 21:45.5 を美事一擧に三十五秒餘短縮した。更に越えて九月八日好調の波に乗る同嬢はズベンドボルグに於て四百米に 5:05.5 の好記録を出して自己の保持する世界記録 5:06.1 を更新した。

然し乍ら「シユヴイムマー」編輯子は右の新記録は總て世界記録としては公認し難いと主張する。その所論に依れば、前記新記録は凡て、ペーテルセンをペースメーカーとして用ひ、全距離の殆んど全部をその誘導の下に泳いだのであるから、記録會に於けるペースメーカーの使用を禁止せられて居る現規則の下に於ては右の諸記録を公認し難いと主張する。筆者は愚にして FINA 規則中にかかる規定の存する事を知らないのであるが、此點に關し有識なる讀者の御教示を仰ぎ度い。

次いで九月二十二日コペンハーゲンに於て開かるべき室内競技會に於て、ベーカー嬢は大膽にも事前に四百米に必ず世界新記録を作ると聲明して之を一般に發表したからたまらない、丁抹の水泳愛好家は目のあたり世界新記録の樹立せらるるを見んものと續々會場に詰めかけ満員の盛況を呈したが、果せる哉、彼女は公約に違はず美事二個の世界新記録を産出して、自信實力共に十分なる事を中外に證明した。當日例の如く彼女はペーテルセンをペースメーカーとして、他の數名の女流選手を加へ共に出泳した。ペーテルセン最初より飛ばして百米を 1:06.0 にて入れば、ベーカー嬢 1:09.0 で之に續く、二百米ペーテルセン 2:22.0 ベーカー 2:25.8 ペーテルセン稍疲労してスピード鈍るや、ベーカーピッチを上げて之を制し、三百米に於ける正式計時に 3:42.5 を記録して、自己の保持する世界記録 3:46.9 を四秒四短縮した。スタンドの觀衆總立ちとなつてベーカー嬢に聲援を送れば、彼女は必死の力泳を以て之に答へ、ペーテルセンを約二十五米引離してゴールにタッチした。流石の彼女も相當疲勞せる如く見受けられたが、正式計時實に 5:00.1 現世界記録を正に六秒短縮する超女子的快記録である。

#### ◎全米女子戶外選手權大會

本年度全米女子戶外選手權大會は八月十六日より三日間ポーランドに於て行はれた。ケンタツキーのレイクサイド俱樂部所屬當年十五歳のメアリ・ムー

アマン・ライアン嬢が 440 碼 880 碼一哩の三種目に全米長水路新記録を樹立したのは注目値する。布哇の日系米人、勝谷富士子嬢及び宮本千恵子嬢が夫々、二百二十碼平泳及び三百三十碼個人メドレーの二選手權を奪取して布哇の爲に氣を吐いた。一着記録左の如し。

#### 自由形

110 碼 1:09.6 プレング・ヘルザー  
440 碼 5:30.1 メアリ・ムーアマン・ライアン  
880 碼 11:26.4 同右  
一哩 23:15.0 同右  
110 碼背泳 1:18.4 (米新)グロリア・カレン  
220 碼平泳 3:14.9 勝谷富士子  
330 碼混泳 4:37.5 宮本千恵子  
三米飛板 146.50 マジヨリー・ゲストリング  
330 碼混繼泳 4:10.4 紐育女子體育俱樂部  
880 碼繼泳 10:58.8 同右

右の中一哩の記録 23:15.0 はベーカー嬢の保持する世界記録 23:11.5 に肉迫する好記録である。ライアン嬢はベーカー嬢の好敵手として相當の活躍を示すものと期待される。又、茲數年姿を消して居た伯林オリンピックの大會の飛板飛込の優勝者ゲストリング嬢が完全にカムバックして、前年の優勝者オーレンコウイチ嬢を抑へて優勝したのは美事であつた。

チーム優秀賞は紐育女子體育俱樂部が 27 點を以つて獲得した、前年優勝チーム、ロサンゼルス體育俱樂部が凋落したのは、同チームの花形、エステル・ウィリアムス嬢他二名の女流選手がプロに轉向した爲だといはれて居る。本年は水泳のプロは未曾有の増收を得つゝあるものゝ如くワイズミューラー一行も相當の収益を擧げつゝありと稱せられる。サンタバーバラに於て本年度の全米男子選手權大會を主催した、ジューニア商業會議所は、AAU 水泳部委員長、ローレンス・ジョンソン氏に一書を送り、同地に於ける選手權大會は、同地未曾有の觀衆を集め公衆の支持を得た旨報告する所があつた。水泳がアメリカに於ても漸くメジャースポーツの域に達したのではないかとの感を懐かせるのは心強い。

#### ◎歐洲室内シーズンの幕開く

「シユヴイムマー」九月二十五日號に於ては、水泳前號に筆者の譯載せるキツフスの「現代に於ける速泳の諸問題」の結論たる「競泳用諸施設を少年少女

八月十三日ヘルシンゲールに於て行はれたる丁抹選手権大會に於てベーカ嬢は丁抹男子千五百米選手権保持者パウル・ペーテルセン 21:45.0 をペースに豊富に供給すべし」と言ふ所論を引用し、獨逸に於ては室内競泳池の数が僅少であるのは誠に嘆かましい事であつて、水泳の發達を促進せんが爲には是非近き將來に於て多數の室内プールを増設すべきである、と主張して居る。我々より見れば獨逸の室内プールの多い事は全く羨しい位であるにも拘らず尙現状に満足せず獨逸體育省水泳課が如上の主張を爲して居るのは以つて他山の石とするに足りる。我國の室内競泳施設の現状は如何、未だ「室内シーズン」なるものすら存在して居ないではないか、論者或ひは、「一年中猛練習を續け緊張に次ぐ緊張を以てするならば泳手は早く體力氣力を消耗して大成を期し難い」と言ふかも知れない。然し乍ら、例へば夏、十軒團體長距離競泳に参加した爲に、日本選手権或ひは日本學生に自己の高潮の波を持ち行くことの出来なかつた泳手が、若し我國に於て歐米に於けるが如く室内シーズンが開かるるならば十分の實力を發揮するに至るであらう。又實業界に在るベテランもビジネスセンターに室内プールが存するならば更に一段と老功振りを發揮し得るであらう。日本の泳手が概してターニングが拙く、長水路では世界最高記録を作り乍ら、短水路に於ては世界記録を破り得ない原因の一つは我國に本當の意味に於ける室内シーズンが無い事であると筆者は考へる。室内シーズンを盛大に舉行しつゝある獨逸すら尙室内プールの不足を嘆じて居る。室内シーズンを有せざる日本の我々は如何に嘆ずるも尙足らざるを思ふ。

閑話休題、獨逸室内シーズン劈頭の大試合はコペンハーゲン對西獨逸對抗競技會であつた。之は十月初めグラードバツハで行はれたがプールが 20 米であつた爲に公認記録とはならないが、左記の如く優秀なるもので、就中女子二百米平泳の如きは世界記録を 2:56.0 凌駕する立派なものである。

男子百背	シムレーダー(獨)	1:07.6
" 百自由	リンドナー(獨)	61.4
" 二百自由	シムレーダー(獨)	2:17.3
" 二百平	ドイセン(獨)	2:45.4
女子 "	カペル(獨)	2:54.0

#### ◎本年度水球界の情勢

本年は歐洲戰亂の爲め、歐洲に於ては例年の如き

大規模なる國際競技は行はれなかつたが八月中旬ブタペストに於て獨伊三國對抗トーナメントが舉行せられた。洪牙利は名にしおふ水球王國である。AB 二チームを出して獨伊と對抗せしめたが、何れも二勝一引合を以つて斷然たる強味を見せた。

洪 A 5—1 伊 洪 A 5—5 獨  
 洪 A 5—5 洪 B 洪 B 7—0 獨  
 洪 B 6—3 伊 伊 「4—3 獨

一方米國に於ては、從來毎年の全米水球選手権大會は總會に AAU 於て最高のギヤランティーを提供する團體に對し主催權を與へる事となつて居たのであるが、本年は之が主催を引受くる所皆無といふ状態で米國に於ては水球は滅亡に瀕して居ると言つても過言ではなからう。



上圖はハンガリーのカポスバル市に建てられたフランツ・チツクの伯林オリンピック優勝を記念する胸像である。銘に曰く「我が町の息フランツ・チツク 1936 年伯林に於ける百米自形優勝者」と

#### ◎ジャレッツ百碼に新記録

今夏全米選手権水上競技大會に於て二百二十碼に全米記録 2:13.6(ワイスミューラー)を破つて 2:13.1 の新記録を樹立したオットー・ジャレッツ(シカゴタワースクラブ)は九月上旬シカゴ市リルスパークの湖水に於て百碼を 50.3 で泳破し、ワイスミューラー(一九二七年)及びフィック(一九三六年)の保持する 51.0 を 0.7 秒短縮した。然し乍ら當日の競技役員中には此の湖水には潮流があつて、本記録は公認し難いと主張する者もあつたとの由である。以上

# 昭和十五年 水泳指導者資格検定試験

本年は水泳指導者講習會を厚生省にて實施し聯盟は昭和五年以來昨十四年度を以てこゝに中絶の形となる

水泳指導者資格検定試験は昭和七年以來引き續き實施し昨年は大阪にても實施したるが本年は大阪に於ける志願者少數の爲め東京のみ實施す 準備指導 七月三十一日 検定 八月一、二日 場所 文理科大學

本年度志願者總數十七名中不参加と不合格各一名にして資格證授與されたるもの次の如し

佐藤哲郎(北海道) 岩田 侃(東京) 花澤幸曆(八王子) 館野 文雄(東京) 中山 俊男(東京) 丸山 壽一(東京) 西田 八郎(東京) 河津タカ子(東京) 池谷 妙子(東京) 久保 正夫(東京) 牧岡武久(神奈川) 後 藤 明(東京) 新海 英男(東京) 高島 垣貞(東京) 小杉 清一(東京)

猶八月二日試験成績中審査の時間を利用しYMCA 柳田氏により補助體操の講習を行へり

本年度試験問題等

## (一) 實 技

平泳、救助法、速泳、立泳、伸泳、背泳、潜水、飛込(標準泳法) 右につき七月三十一日には文理大プールにての受検者殆んど全部に對し検定委員總出にて各種目の實地指導等を行へり

## (二) 筆記試験

### イ、水泳指導者心得試験問題

1. 水泳の事故を防止する爲心得べき事柄三ツを挙げよ
2. 水泳上達の爲には一度や二度溺れる位でなければならぬと云ふ説あり、所見を問ふ

### ロ、標準泳法試験問題

1. 泳方の六種類を挙げよ(振假名を付けること)
2. 足の動作四種を挙げよ
3. 浮身の要領を簡単に説明せよ

### ハ、競技概説試験問題

1. 高知市水泳場に於ける市主催市民水泳大會に於て世界記録が出た、此の結果を無駄にしない爲には正式の手續を経て申告をしなければならぬが左の機關を経る順序の通り番號を付せ

- ( ) 高知市(地方競技會主催者)
- ( ) 日本水上競技聯盟(國の統轄團體) 理事會
- ( ) " " 記録委員會
- ( ) 高知縣體育協會(水上聯盟地方加盟團體)
- ( ) 國際アマター水泳聯盟(世界の統轄團體)

2. 競泳中左記の場合は反則か否か、不要の文字を消せ  
イ、背泳の折返しの際勢足らず下向きとなり暫く流して後手を觸れ蹴り出したる場合(正、反)

ロ、自由型競泳折返しの際自己の隣の水路に浮き上り

他の泳者の妨害はしなかつたがすぐ氣が附いて自己の水路に戻り泳ぎ續けたる時(正、反)

ハ、平泳競泳の折返しに於て或る泳者がプールの面に兩掌同時であつたが左右に揃へず上下に揃へて觸れた(正、反)

ニ、自由型競泳の際或る泳者がうつかりして銃聲と同時に出發し損じたがすぐ氣がついて飛込んで泳いだ(正、反)

ホ、繼泳の際泳者が確實にプール面に手を觸れぬ前に次の泳者が飛び込みたる時(正、反)

### ニ、水泳醫事試験問題

1. 次のに擧げる諸項の中泳いで悪い場合はどれか○をつけよ

トラホーム(別名トラコーマ) 近眼、中耳炎、頸の淋巴腺の腫れてる者(熱の無い場合) 脚氣、神經衰弱

2. 食前食後泳いで悪いかどうか、若し悪いとすれば何故か

3. 水泳は健康上にどんな利益を與へるか

### ホ、飛込競技問題

1. 飛込競技用の飛板及高飛込臺の高さを問ふ
2. 飛板飛込と高飛込との特徴を述べよ

### ヘ、水球競技試験問題

1. 水球チームは各幾名か(答 名)
2. 競技時間は何分宛か(答 分宛)
3. 次の場合の判定は正か誤か(正しき方に○印を附し一方を消せ)

イ、ゴールキーパーの手に當りてボールがゴールライン外に出た時コーナースローと判定した(正、誤)

ロ、ドリブルをして居る相手方を沈めた競技者にフリースローを與へた(正、誤)

ハ、沈められた時ボールを抱へたまゝ沈んだ場合其の沈んだ競技者にフロリースローが與へられた(正、誤)

### ト、救助法試験問題

1. 岸より二十米離れたる河中に溺者ありてもがき苦しむ附近には他に人影見へず。かゝる場合に行き當たつ時君は先づ如何するか

2. 人工呼吸は左の何れの場合に有効か。○印をつけよ  
心臟麻痺、溺死、ガス中毒、縊死

3. シェーフアー式人工呼吸法の一分間に於ける『壓力を加へ壓力を放失する』回數は何程か。左の適當なものに○をつけよ

十一回、十三回、十五回、十七回

4. 「溺者に組付かれた時、それを解放する動作は水中に潜つて行ふべし」といふが何故か

# 昭和十五年定

# 例代議員會議事録



昭和十五年八月十八日午前十時

於東京丸ノ内中央亭本店

## 一、點呼及、出席者

### 加盟團體代議員

山形縣體育協會		竹内 八郎
宮城縣水泳協會	今野 正巳	坂野 耕平
關東水泳協會	大井 忠紀	磯野 百男
橫濱水泳協會	白山源三郎	外川 正
新潟縣水泳協會		鈴木吉之助
松本水泳協會	小林 高志	兒玉 博
靜浦游泳協會		佐藤 潔
濱名灣游泳協會	牧野 敏一	中村 豐
山梨水泳聯盟		樋口喜久男
三重水泳聯盟		塚口 卓郎
京都水上競技聯盟		竹村 公良
大阪水泳協會		杉本 傳
兵庫縣水泳協會		板野龜八郎
廣島縣體育協會	平川祐智 吉本 弘	鎌田壽夫
愛媛縣體育協會		深谷 俊明
香川縣體育協會		渡邊 延
山口縣體育協會		齋藤 巍洋
朝鮮水上競技聯盟		武村 清
福島縣體育協會		松澤 一鶴
日本學生水上競技聯盟		

小山賢之助、藤岡 隆司、小泉 一

日本水上競技盟聯 會長 末弘嚴太郎

理事長 田畑 政治 名譽主事 野田 一雄

名譽會計 大橋國太郎

理事 笹島彦次郎、渡邊貫、内藤徹、横尾清吾

評議員 野村 憲夫

## 二、(イ)出征諸役員並に皇軍將士武運長久祈願

(ロ)本聯盟評議員堀江耕造氏逝去を悼み默禱

## 三、末弘會長挨拶

## 四、機關誌「水泳」第六十七號所載前回(昭和十四

年)定例議員會議事録確認

## 五、昭和十四年度事業概要報告

### イ、諸競技會

### (1) 女子合同練習會記錄會

4月3日 東京府立六女

### (2) 男子合同練習會記錄會

4月20日 東京帝大

### (3) 第二回團體長距離競泳全國大會

7月30日 熱海一初島

### (4) 關東選手權水上競技大會

8月4日 神宮

### (5) 第二回國民皆泳全國學童水泳大會

8月6日 中央會場神宮

### (6) 關東女子中等學校水上競技大會

8月6日 神宮

### (7) 日本選手權水上競技大會

8月12.3.4日 神宮

### (8) 日本女子中等學校選手權水上競技大會

8月26.27日 甲子園

### (9) 明治神宮國民體者大會水上競技大會

9月21.2.3.4日 神宮

## ロ、選手強化事業

### (1) 男子學生競泳、飛込、水球、合同練習會

自3月14日 東京帝大室内  
至4月20日 プール

### (2) 女子合同練習會

自3月25日 東京府立第六  
至4月3日 高女プール

### (3) 水球代表軍合宿練習會

自8月16日 松竹館、神宮  
至8月25日 プール

## (ハ)指導普及事業

### (1) 水泳指導者講習會

東京 自7月5日 國民體育館  
至7月11日

大阪 自7月6日 甲子園水泳場  
至7月12日

### (2) 水泳指導者資格檢定試験

東京 7月12.13日 國民體育館

大阪 7月13.14日 甲子園水泳場

### (3) 全國各地へ講師派遣

## (ニ)記錄發表

イ、世界記錄

ロ、日本記錄

ハ、日本新記錄

ニ、世界水上廿傑

- ホ、日本水上廿傑      へ、日本中等水上十傑  
ト、小學兒童十傑      チ、クラス選手詮衡  
リ、日本代表軍詮衡

(ホ)建設測定事業

1. 競泳池公認
2. 競泳池公認=關スルパンフレット發行

(ヘ)諸會議(機關誌水泳各號參照)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 代議員會(1)      | 2. 在京代議員會(1)   |
| 3. 理事會常務理事會(26) | 4. 評議員會(3)     |
| 5. 競泳技委員會(3)    | 6. 飛込競技"(11)   |
| 7. 水泳競技"(9)     | 8. 女子部"(6)     |
| 9. 標準泳法"(3)     | 10. 記録"(7)     |
| 11. 外國關係(1)     | 12. 編輯"(2)     |
| 13. 醫事"(1)      | 14. 水泳史研究"(7)  |
| 15. 測定"(1)      | 16. 競泳池公認"(10) |
| 17. 小學校"(12)    | 18. 團體遠泳"(4)   |
| 19. ラヂオ學童"(4)   | 20. 神宮競技"(5)   |

(ト)刊行物

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 昭和 14 年度鑑    | 1,000 部   |
| 2. 機關誌「水泳」年 8 回 | 1,000 部宛  |
| 3. 標準泳法         | 2,000 部   |
| 4. 補助運動         | 1,000 部   |
| 5. 水泳指導基準       | 6. 學童水泳讀本 |

(チ)賞牌

1. 第 2 回團體長距離競泳全國大會  
イ、厚生大臣盃      ロ、海軍大臣賞  
ハ、賞盃、西郷侯爵、樋口熱海市長、末弘會長
2. クラス章(本年度分)  
競泳 男子(A 2) (B 18) (C 101)  
" 女子(A 0) (B 2) (C 59)  
飛込 男子(A 2) (B 2) (C 12)  
" 女子(A 3) (B 2) (C 2)  
水球 男子(A 7) (B 13)
3. 全國小學校本年最優校表彰楯  
尋男 靜浦尋常高等小學校 加盟團體 靜浦  
尋女 九度山尋常高等小學校 " 和歌山  
高男 靜浦尋常高等小學校 " 靜浦  
高女 大井高等小學校 " 關東
4. 全國兒童十傑各種目優泳賞狀五百貳拾名授與
5. 國民皆泳全國學童水泳大會賞狀八百校へ授與

六、諸報告

(イ)米國水泳選手招聘並に布哇遠征經過報告(田畑理事長)

昨秋より交渉中なりし布哇遠征並に米國選手招聘の件は幾多の波瀾ありしも五月頃に至り兩件ともやうやく交渉成り、船室迄豫約せしも米國 AAU の不承認により中止となりたるは遺憾至極なり。

(ロ)南米遠征經過報告(齋藤巍洋氏)

昭和 14 年 12 月より本年 6 月に亘り同氏監督の下に遊佐正憲、葉室鐵夫兩選手南米諸國に遠征せる經過並に感想報告あり詳細は「水泳」73 號參照の事

(ハ)團體長距離競泳、神宮大會移管の件(田畑理事長)

從來熱海、初島間に於て本聯盟主催にて開催せる團體長距離競泳全國大會は本年度より神宮大會に移管横須賀防波堤より横濱二ノ谷海岸に至る海上に於て舉行さるゝに至りたる關係方面との交渉經過報告あり。

(ニ)指導普及に關する報告(白山源三郎氏)

- A 指導者講習會は本年度より厚生省移管開催
- B 指導者資格檢定試験は 8 月 1—2 日本聯盟に於て施行し 15 名の合格者を得た旨報告

(ホ)第 3 回國民皆泳全國學童水泳大會準備狀況報告(田畑理事長)

(ヘ)紀元二千六百年奉祝第 11 回明治神宮國民體育大會海洋競技部團體長距離競泳實施狀況報告(田畑理事長詳細本號參照)

(ト)紀元二千六百年奉祝第 11 回明治神宮國民體育大會夏季大會水上競技部施行方針に就て(田畑理事長)

(チ)賞牌に關する報告 和田豐子夫人に感謝の意を表し楯を贈る

(リ)刊行物

- A 昭和 15 年度水泳年鑑(6 月 10 日發行)
- B 「水泳」誌 67—73 號發行
- C 標準水泳 補助運動

七、議事

(イ)聯盟規約改正の件

- A 小學校委員會(普及委員會より獨立)設置の件
  - B 編輯委員會設置の件
  - C 代議員會開催期日度數改正の件
  - D 代議員並に設員改選期變更の件
- 以上各件とも承認之に伴ふ規約字句の變更

其の他の事に付いては理事会に一任とする事に決定

E 一部役員補充の件(決定)

競泳競技委員長 遊佐正憲(前理事)  
 編輯委員長 松浦武雄(前競泳競技委員長)  
 小學校委員長 内藤 徹  
 理事及常務理事に(關東水泳協會新代議員たる下記三氏を任命)  
 藤原 豊(元記録委員長) 大野 元美  
 大井 忠紀(元理事)

(ロ)昭和 14 年度會計決算及 16 年度豫算案承認  
 並可決但し 16 年度豫算案に就ては年度事業  
 計畫決定の上多少變更する事あるべし

昭和 14 年度會計報告 自 昭和 14 年 5 月 1 日  
 至 昭和 15 年 4 月末日

収入之部

第 1 項 經常收入	12,354.59
第 1 目 厚生省補助金	800.00
第 2 目 加盟金	910.00
第 3 目 前期繰越金	10,004.87
第 4 目 同學聯借入金	529.71
第 5 目 銀行及振替利子	110.01
第 2 項 事業收入	16,961.85
第 1 目 雑誌、年鑑其の他	1,297.82
第 2 目 廣告料	480.00
第 3 目 事業費戻金	296.76
第 4 目 雑收入	640.72
第 5 目 競技會收入其の他	14,096.55
第 6 目 指導者講習會	150.00
第 3 項 補助金	3,519.00
第 1 目 全國學童大會補助金	1,200.00
神宮競技大會 "	2,269.00
其の他	50.00
第 4 項 立替金受入(學聯へ)	345.85
第 5 項 借入金(學聯・振替口座入金)	114.00
總 計	33,195.29

支出之部

第 1 項 經常支出	15,145.42
第 1 目 體協加盟金	100.00
第 2 目 事務所費	3,817.05
(イ) 借室料	2,319.66
(ロ) 電話料	206.39
(ハ) 人件費	1,291.00

第 3 目 通信費	1,063.93
第 4 目 競技用品費	1,567.04
第 5 目 印刷費	3,471.39
第 6 目 文具消耗品費	166.87
第 7 目 會合費	2,810.14
第 8 目 交通宿泊費	2,149.01
第 2 項 事業費	14,888.52
第 1 目 競技場使用料(入場税共)	2,585.14
第 2 目 雑誌「水泳」	1,214.62
第 3 目 年鑑	525.90
第 4 目 水泳讀本	21.75
第 5 目 獎勵費	707.95
第 6 目 競技會現場人夫費	757.45
第 7 目 講習會補助費	26.90
第 8 目 強化事業費	737.50
第 9 目 中等大會補助	800.00
第 10 目 神宮大會	2,474.13
第 11 目 長距離競泳大會	2,647.63
第 12 目 全國學童水泳大會	1,200.00
第 13 目 圖書費	52.10
第 14 目 雜費	1,237.45
第 3 項 次期繰越金	3,261.35
總 計	33,295.29

昭和 16 年度會計豫算案 自 昭和 16 年 5 月 1 日  
 至 昭和 17 年 4 月末日

収入之部

第 1 項 經常收入	1,980.00
第 1 目 厚生省補助金	1,000.00
第 2 目 加盟金	980.00
内譯 { A クラス(6)	300.00
B クラス(34)	680.00
第 2 項 事業收入	19,309.00
第 1 目 年鑑、標準泳法、補助運動	400.00
第 2 目 雑誌購讀料(一部 30 錢、年 8 回發行)	480.00
第 3 目 競技會實收入(最低豫定)	17,629.00
第 4 目 雑誌、プロ等廣告料	800.00
總 計	21,289.00

支出之部

第 1 項 經常支出	11,789.00
第 1 目 加盟金	185.00
體育協會	100.00
FINA	85.00



第2目 事務所費	4,704.00
借室代	2,304.00
電話料	450.00
什器	150.00
人件費	1,800.00
第3目 通信費	800.00
第4目 競技會用品費	800.00
第5目 印刷費	2,000.00
第6目 文具消耗費	300.00
第7目 會合費	2,000.00
代議員會	300.00
理事會及常務理事會	500.00
各部委員會	1,200.00
第8目 交通費	800.00
第9目 雜費	200.00
第2項 事業費補助	6,000.00
第1目 機關誌「水泳」及年鑑	2,500.00
第2目 獎勵費	500.00
第3目 圖書費	100.00

第4目 競技場使用料及練習費	1,900.00
第6目 競技會入夫費	800.00
第6目 雜費	200.00
第3項	3,500.00
第1目 豫備金	1,500.00
第2目 普及事業費	1,000.00
第3目 積立金	1,000.00
總計	31,289.00

(ハ)昭和16年度事業計畫に付ては聯盟規約改正後の2月上旬(豫定)の定例代議員會に於て協議決定する事に決定す。

(ニ)靜浦游泳協會より提出 時局の關係上當分水着なしにて記録を公認され度き件(可決)

(ホ)日本女子中等選手權水上競技大會に一豫選區より上位校出場の件(可決)

(本年8月2日廣島に於て行はれる前記大會に開催地の廣島豫選區は校實力伯仲してゐる關係上(今迄は原則として校しか出場出来ないが)特に本年も出場校を許可する事を承認す。

### 聯盟秋から冬へ



末弘先生は御承知の如く日本最初の「體育功勞者」として神宮大會の晴の舞臺で他の四先生と共に表彰され、御目出度い限りで又嬉しい限りです。田畑さんは大多忙で減多に會へない、野田さんも神宮大會の御骨折で大變だつた、大橋さんは重役陣へ突入された。松澤さんも體協とかけもちで大多忙。白山さんは壺井さんの見舞金募集で御骨折。野村さん又神宮大會で厚生省と聯盟の連絡で大多忙、戦地からは藤原、藤岡、根來、大井四氏の凱旋があつて聯盟も働手がふへ又廣東の出張先からは宍道さんも歸つて來た、神宮大會で珍らしくも藤田明さんが上京された、隨分スマートになつて皆からそんなにやせたら十年も長生するぞと聲援され藤田先生も嬉しさう、保谷さんは御目出度でいつもにここに、學聯の奥野さんは美の祭典の試寫會へわざわざ出張先から歸京され、小山さん又外國關係仕事を一手に引うけて忙しい、松浦さんは雑誌で大活躍、飛込の原さんは一度でいいから時計臺の下當りから飛込競技を見たいと泌々話して居られた。磯野さんも病氣恢復されてもうすつかり元氣、聯盟の技術方面を一手に引受て活躍されて居られる深谷さんの無筋プールの提案は時局に相應せる待望のものであり水球の笹島さんは水球用ボールの獲得で大童である、齋藤さんも立大のマニラ遠征實現で聯盟からその旨報告した所「有難うごはした」と元氣な聲で應待された。聯盟事務の島田、伊藤の兩君も全記録の轉寫で忙しい、この努力が本年度の記録號へと集成されてゆくわけである。

神宮大會から現在迄記録の整理でぶつ續けて多忙の聯盟事務所も雑誌の編輯と記録の發表等仕事は次から次へ豫定されて一段落つく頃は既に來年のプランへ飛びかゝつて行かねばならぬ頃と思はれる。然しいくら忙しくても「國民皆泳」の大方針の下に奉仕を續けてゐるが、努力の足らざるを憂へるばかりである。(横尾)

日本水上競技聯盟機關雜誌

水 泳

第75號

昭和十五年十一月二十八日納本  
昭和十五年十二月一日發行

(日本水上競技聯盟代表)  
編輯兼印刷人 宍道洋一

印刷所 大日本印刷株式會社  
牛込區市谷加賀町一の十二

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金換約は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581  
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替口座東京三九九一九番